



資料②

第2期いの町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度 効果検証シート



〔目次〕

- 基本目標 1 . . . 3 ページ～ 4 2 ページ
- 基本目標 2 . . . 4 3 ページ～ 5 6 ページ
- 基本目標 3 . . . 5 7 ページ～ 7 5 ページ
- 基本目標 4 . . . 7 6 ページ～ 8 2 ページ

基本目標1 産業活性化と安定した雇用を創出する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)地産の強化を図る (ア)農業の振興を図る	1	産業経済課	利用権新規設定数	件	10	27	10	15	10	12	◎	10	
	2	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	件	5	2	5	0	5	0	△	5	
	3	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	ha	1	0.45	1	0	1	0	△	1.0	
	4	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	件	3	1	3	0	3	0	△	3	
	5	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	ha	1.2	0.25	1.2	0	1.2	0	△	1.2	
	6	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定締結数	集落	18	17	19	17	18	17	△	18	
	7	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定面積	m ²	1,448,032	1,192,587	1,448,032	1,200,200	1,448,032	1,191,922	△	1,448,032	
	8	産業経済課	多面的機能支払対象組織数	組織	2	2	2	2	2	1	△	2	
	9	産業経済課・吾北産業課	集落営農組織数	組織	12	1	12	11	12	11	△	12	
	10	吾北産業課	作業受託面積	ha	15	19	15	21	15	25	◎	15	
	11	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 夫婦型	組	1	0	1	0	2	0	△	3	○
	12	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 単独型	人	1	0	2	1	5	2	△	7	○
	13	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜	千円	255,000	291,450	255,000	248,903	255,000	236,361	△	255,000	
	14	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	千円	6,025	3,513	6,025	3,640	6,025	4,561	△	6,028	
	15	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	千円	35,000	31,914	35,000	27,256	35,000	16,407	△	35,000	
	16	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	千円	4,500	3,610	4,500	3,674	4,500	1,895	△	4,500	
	17	本川産業建設課	本川きじの販売額	千円	32,927	14,210	32,927	12,969	32,927	14,936	△	32,927	
	18	吾北産業課	森の小さなお菓子屋さん	%	110	87	110	80	110	92	△	110	
	19	吾北産業課	吾北物産出荷協議会の売上	%	105	90	105	81	105	81	△	105	
	20	産業経済課	有害鳥獣捕獲数	頭(羽)	2,400	1,900	2,400	1,590	2,400	2,125	△	2,400	
	21	産業経済課	電気柵設置数	件	40	59	40	40	40	44	◎	40	
	22	産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	狩猟免許取得補助数	件	10	10	10	10	10	14	◎	10	
	23	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	3	12	4	△	20	○
	24	産業経済課・吾北産業課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	4	3	△	6	○

(イ)林業の振興	25	森林政策課	原木生産量	m以上	-	(暫定値) 28286	-	(暫定値) 31861	-	(暫定値) 33899	評価なし	50,000	
	26	土木課・吾北建設課・本川産業経済課	林道整備(開設)	m	1,400	1,171	1,900	2,109	2,600	2,987	◎	4,000	○
(ウ)ものづくりや地元産業の振興	27	産業経済課	新規立地件数	件	-	0	-	0	-	0	評価なし	1	○
	28	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	1	4	◎	7	○
	29	産業経済課	伊野製紙工業会会員の売上	百万円	23,000	23,108	23,000	24,290	23,000	22,000	△	23,000	
	30	産業経済課	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	万円	1,700	747	1,700	829	1,700	1,118	△	1,700	
	31	産業経済課	手すき職人数	人	7	6	7	6	7	6	△	7	
(エ)地産地消の徹底	32	産業経済課、吾北産業課、本川産業建設課	直販店の販売額	万円	27,270	25,400	27,270	25,687	27,270	26,453	△	27,270	
	33	教育委員会	学校給食の食材における地場産物の活用割合(金額ベース)	%	65	62	65	58	65	53	△	65	
(2)外商の強化を図る	34	産業経済課	体験型プログラム参加人数	人	26,599	14,489	29,546	18,612	29,841	22,629	△	30,440	
	35	産業経済課	体験料収入	千円	50,799	32,065	58,141	38,621	58,723	43,996	△	59,903	
(3)雇用の創出を図る	36	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	2	8	2	△	20	○
	37	産業経済課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	2	2	○	6	○
	38	森林政策課	新規林業就業者	人	-	5	-	11	-	13	評価なし	15	○
	39	森林政策課	新規林業就業者への研修支援	人	-	12	-	28	-	41	評価なし	55	○
	40	総合政策課	大学等との連携した事業展開検討	件	3	2	3	1	3	1	△	3	

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 1

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	① 農地の保全管理					
項目	★ 利用権新規設定数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★利用権新規設定数		10	件	6	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	27	15	12			件
目標に対する達成率	270%	150%	120%			単年度目標
基準値に対する増減率	350%	150%	100%			
評価	◎	◎	◎			
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	窓口や現地での相談の際に設定を促すことで、目標値を超える結果となった。					
CHECK: 分析	窓口や現地での相談での周知により目標達成したと思われる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中でも当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

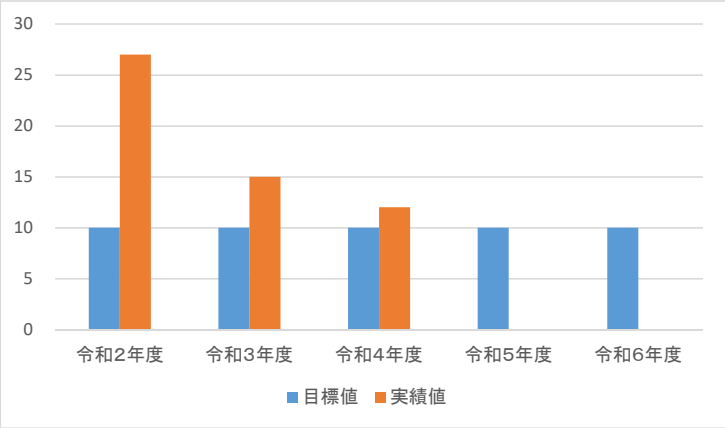
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【利用権新規設定数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 2

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	5	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	件
実績値	2	0	0			件
目標に対する達成率	40%	0%	0%			単年度目標
基準値に対する増減率	200%	0%	0%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK: 分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION: 今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

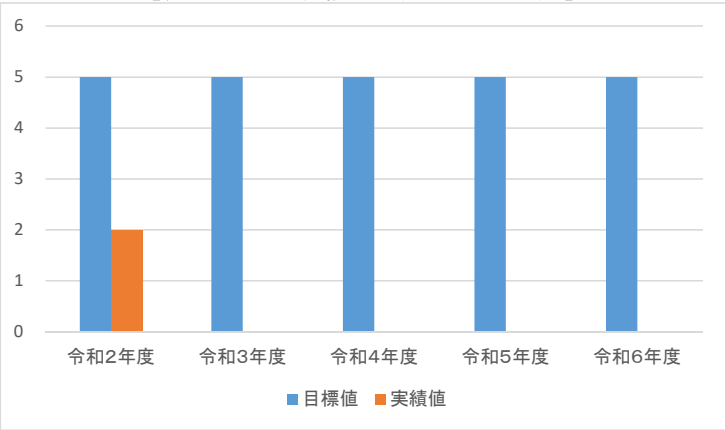
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手(件数)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

3

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	1	ha	0	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	ha
実績値	0.45	0	0			ha
目標に対する達成率	45%	0%	0%			単年度目標
基準値に対する増減率	45%	0%	0%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK: 分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION: 今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

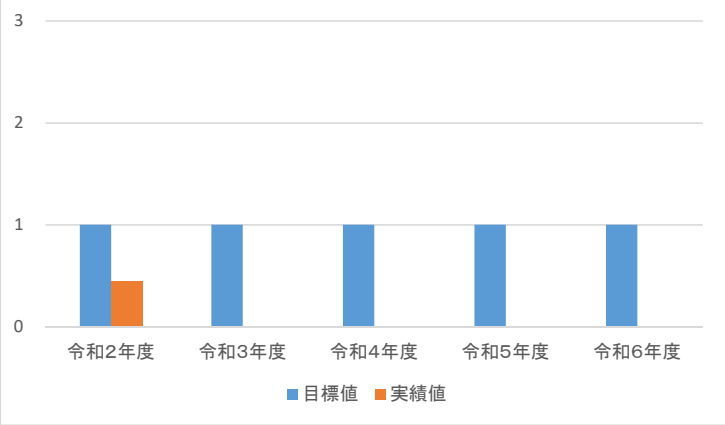
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手(面積)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

4

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	3	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	1	0	0			件
目標に対する達成率	33%	0%	0%			単年度目標
基準値に対する増減率	100%	0%	0%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK: 分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION: 今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

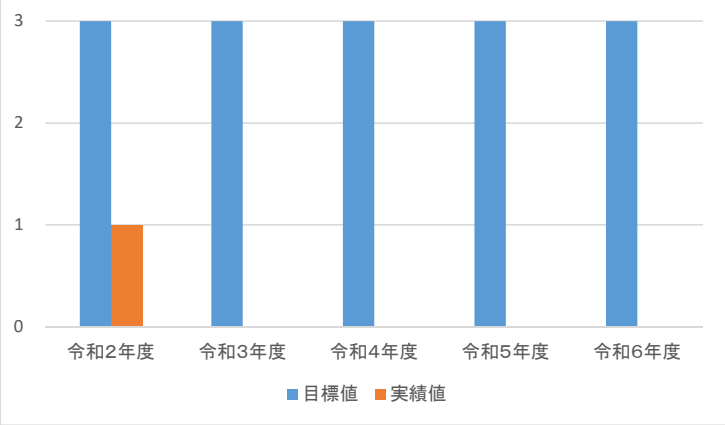
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手(件数)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

5

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	1.2	ha	0	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	ha
実績値	0.25	0	0			ha
目標に対する達成率	21%	0%	0%			単年度目標
基準値に対する増減率	25%	0%	0%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK: 分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION: 今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

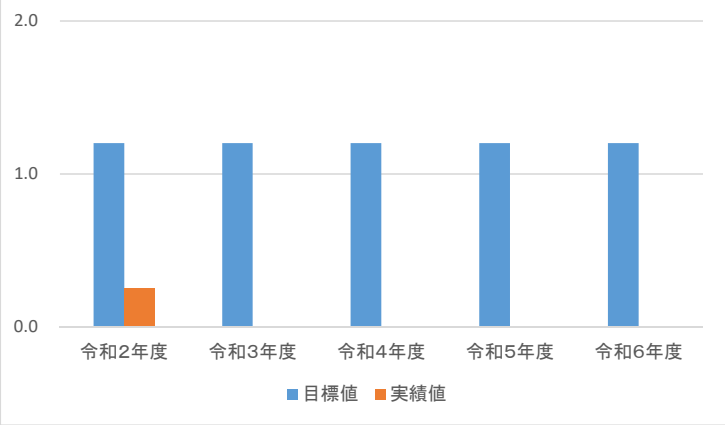
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手(面積)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 6

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	① 農地の保全管理					
項目	★ 中山間地域等直接支払集落協定締結数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★ 中山間地域等直接支払集落協定締結数		18	集落	20	集落
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	18	19	18	18	18	集落
実績値	17	17	17			集落
目標に対する達成率	94%	89%	94%			単年度目標
基準値に対する増減率	-15%	-15%	-15%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定を中心に集落活動に対する意向を聴取し、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	各種説明会で制度の説明を行い集落協定数の増加を目指したが、新規の集落協定は無く目標値に届かなかった。					
CHECK: 分析	条件不利地域における農業生産条件の不利を補正することを目的の一つとして掲げる制度であるが、高齢化や流出等により担い手が減少し、代表者として協定を牽引する人材が不足しているものとする。					
ACTION: 今後の対応	今後も各種説明会を通し制度の周知を図ることで集落協定数の増加を目指す。					

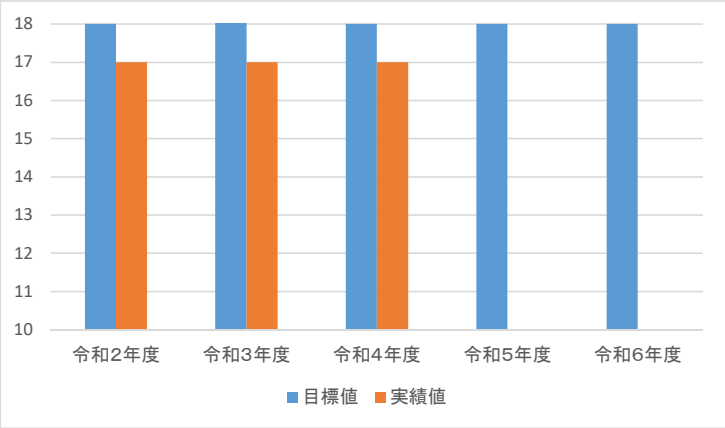
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中山間地域等直接支払集落協定締結数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

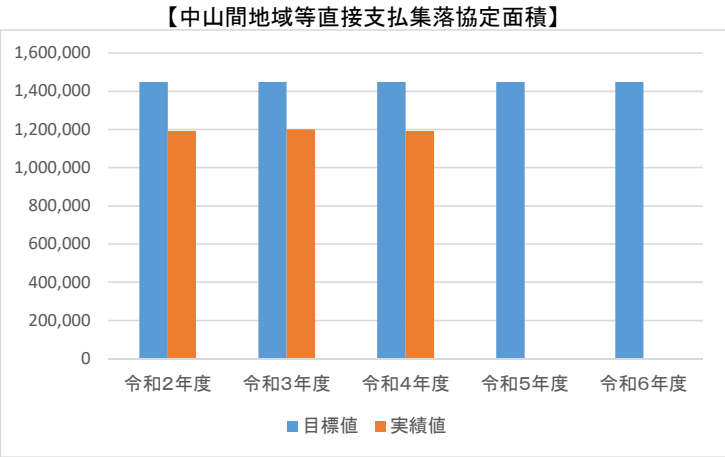
基本目標1

連番 7

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定面積				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定面積		1,448,032	m ²	1,520,900	m ²
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	m ²
実績値	1,192,587	1,200,200	1,191,922			m ²
目標に対する達成率	82%	83%	82%			単年度目標
基準値に対する増減率	-22%	-21%	-22%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定の農地や担い手を、5期対策の参加協定に取り組み、目標値の達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	高齢化に伴い、農地の保全・管理が不可能になった箇所が発生し面積が減少した。					
CHECK: 分析	面積がやや減少したものの原則1期5年は耕作等を行わなければならない制度であることから、現状維持に近い数値で留まっている。					
ACTION: 今後の対応	今後も各種説明会を通し制度の周知を図ることで集落協定数の増加を目指す。 また、現在の集落協定の地域で耕作等を行う農地を洗い出し面積の増加に努めていく。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

8

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	多面的機能支払対象組織数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★多面的機能支払対象組織数	2	組織	3	組織	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	組織
実績値	2	2	1			組織
目標に対する達成率	100%	100%	50%			単年度目標
基準値に対する増減率	-33%	-33%	-67%			
評価	○	○	△			
PLAN: 取組内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援 (多面的機能支払制度)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1組織が継続して活動を行った。					
CHECK: 分析	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を行うことができたものの、活動を行うにあたり地域 リーダーの不在や高齢化が原因となっている。					
ACTION: 今後の対応	今後も引き続き、個別の説明会の開催などにより活動組織の増加を図る。 また現在活動している組織の面積、交付金額の増を目指す。					

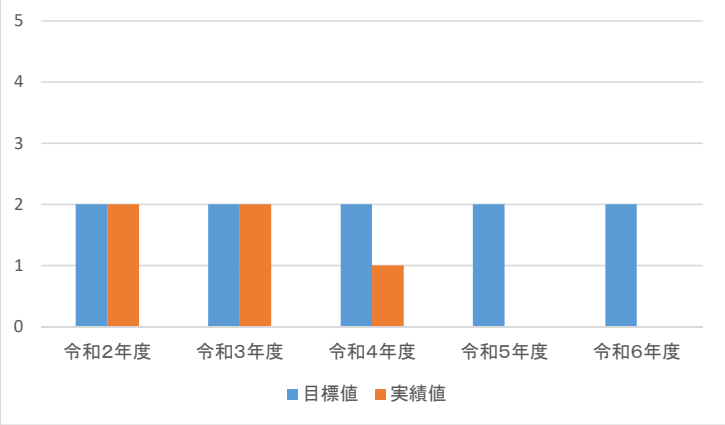
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【多面的機能支払対象組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

9

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	集落営農組織数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★集落営農組織数	12	組織	11	組織	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	12	12	12	12	12	組織
実績値	11	11	11			組織
目標に対する達成率	92%	92%	92%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	定例会等に参加し、そこで持ち上がった課題や活動方針に対しサポートを行い、組織の存続に取り組む。 また、県の農業振興センターと協力し、組織発足を希望する集落の掘り起こしを行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	現組織の存続に留まった。					
CHECK: 分析	各組織とも高齢化とリーダー不足が課題である。					
ACTION: 今後の対応	今後の担い手である新規就農者や認定農業者等を中心にリーダーの発掘を行う。育成においては補助事業を活用した新規就農者の確保等を県の農業振興センターやJAと連携し行っていく。					

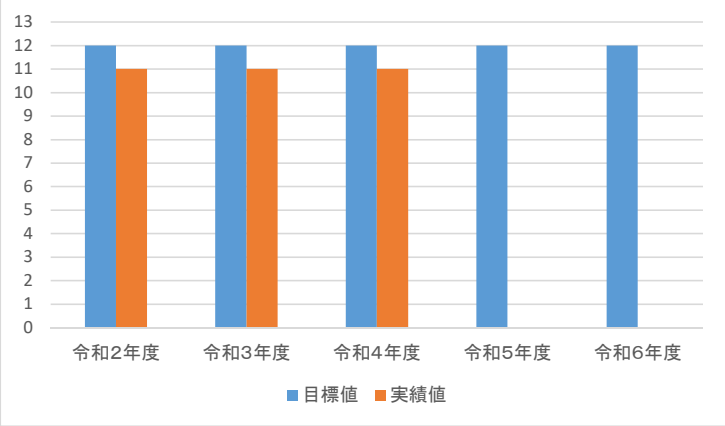
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落営農組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

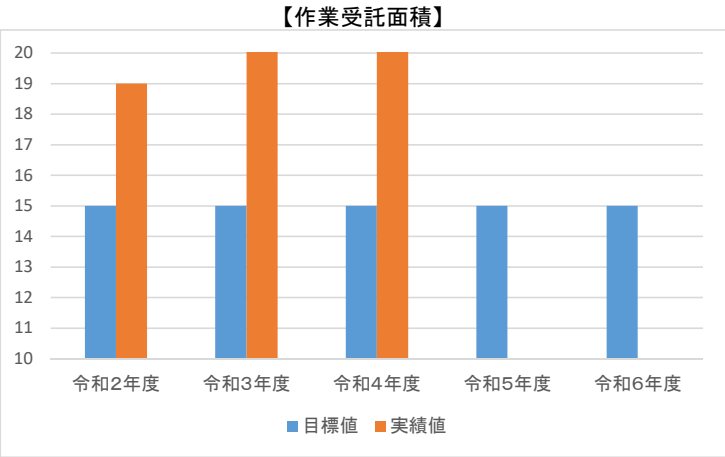
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 10

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	① 農地の保全管理					
項目	★ 作業受託面積					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★ 作業受託面積		15	ha	15.9	ha
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	15	15	15	15	15	ha
実績値	19	21	25			ha
目標に対する達成率	127%	140%	167%			単年度目標
基準値に対する増減率	19%	32%	57%			
評価	◎	◎	◎			
PLAN: 取組内容	地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農業生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	農事組合法人上東で実施されており、令和4年度の作業受託面積は25haとなった。					
CHECK: 分析	水稻三作業において作業受託面積が増加した。 また、高齢化などの理由により耕作できなくなった農地を法人が借受け水稻栽培し、農地の保全が保たれた。					
ACTION: 今後の対応	集落営農組織への農地集積や農業機械の更新等、農協、県農業振興センターと連携し支援していく					

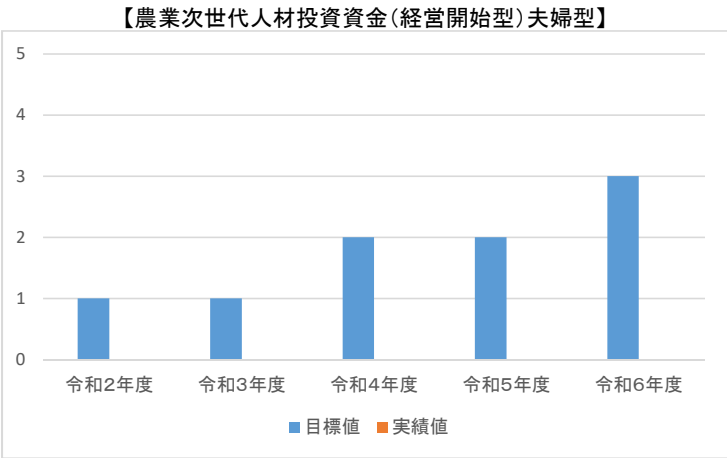
評価項目	◎ 目標値以上	総合評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等		○ 目標値と同等
	△ 目標値未満		△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了		× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型	3	組	3	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	2	2	3	組
実績値	0	0	0			組
目標に対する達成率	0%	0%	0%			累計目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-100%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	夫婦による新規就農者0組					
CHECK: 分析	夫婦による新規就農希望者がおらず、制度の要件の対象とならなかった					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め、対象者には制度説明を行う。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 12

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型	7	組	1	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	2	5	6	7	組
実績値	0	1	2			組
目標に対する達成率	0%	50%	40%			累計目標
基準値に対する増減率	-100%	0%	100%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	単独により新規就農者1名					
CHECK: 分析	農業次世代人材投資事業(準備型)を活用していた研修者が就農し、制度の活用をした。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め就農と併せて制度活用に繋げていく。					

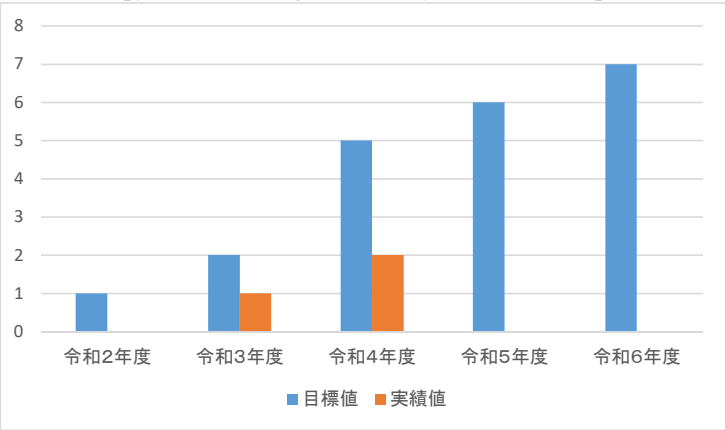
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

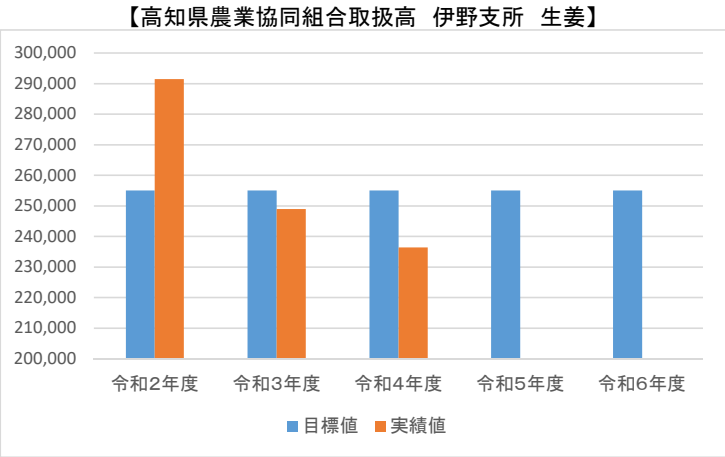
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 13

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜		255,000	千円	311,403	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	千円
実績値	291,450	248,903	236,361			千円
目標に対する達成率	114%	98%	93%			単年度目標
基準値に対する増減率	-6%	-20%	-24%			
評価	◎	△	△			
PLAN: 取組内容	生姜については、部会での研修会を開催しよりよい栽培方法などを検討し、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標を下回った。					
CHECK: 分析	生姜価格の下落が取扱高の減少の要因として考えられる。					
ACTION: 今後の対応	小袋包装での販売など市場のニーズに則した販売などを行い取扱高の増加に努める					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

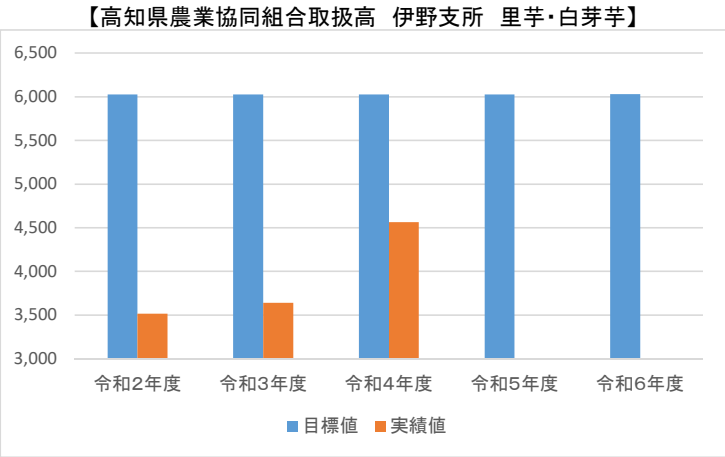
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 14

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	6,028	千円	6,023	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6,025	6,025	6,025	6,025	6,028	千円
実績値	3,513	3,640	4,561			千円
目標に対する達成率	58%	60%	76%			単年度目標
基準値に対する増減率	-42%	-40%	-24%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	里芋等については、部会での研修会を開催し新しい販売方法等を検討し、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標値を下回った。					
CHECK: 分析	栽培面積に大きな変化はなかったものの、部員が増加したことにより取扱高は漸増となっている。					
ACTION: 今後の対応	今後も栽培講習会や新規栽培者の勧誘など出荷量の向上に努め生産額の向上を図る。					

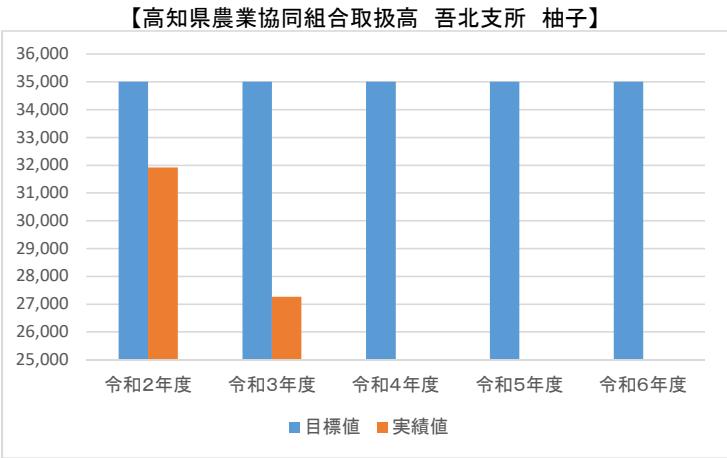
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	35,000	千円	42,643	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	千円
実績値	31,914	27,256	16,407			千円
目標に対する達成率	91%	78%	47%			単年度目標
基準値に対する増減率	-25%	-36%	-62%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	柚子部会で研修会を開催し、玉出荷を励行することにより、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和3年度: 226t、27,256千円 令和4年度: 127t、16,407千円					
CHECK: 分析	隔年結果で、例年にない不作(県内軒並み減少)のため生産量自体が激減し、目標値を大きく下まった。					
ACTION: 今後の対応	今後、県農業振興センターや農協との連携により、優良系統苗を普及に努め産地の強化を図る。 また、非接触型AI画像解析選果機を導入し、出荷調整作業の労力軽減を図り、栽培管理の労力を確保し、玉出し率の向上と農家所得の向上を図る。					

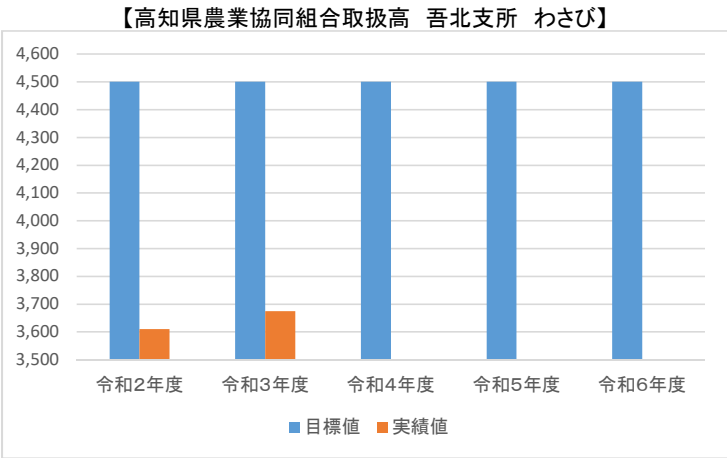
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび		4,500	千円	3,909	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	千円
実績値	3,610	3,674	1,895			千円
目標に対する達成率	80%	82%	42%			単年度目標
基準値に対する増減率	-8%	-6%	-52%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	新規栽培者の開拓を提案型担い手確保対策とも絡めて行い、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和3年度: 13,283kg、3,674千円 令和4年度: 6,893kg、1,895千円					
CHECK: 分析	10月の高温により発芽せず、苗の成長が通常より1か月以上遅れ、栽培期間が短くなったため、生産量の大幅な減となった。					
ACTION: 今後の対応	農業公社の適期出荷を支援し、生産量の安定化を目指すとともに、農協、県農業振興センターとの連携により研修会を適宜実施し、適正な防除に努めることにより、秀品率、収量の向上を図る。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 17

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	本川きじの販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川産業建設課	★本川きじの販売額	32,927	千円	14,859	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	32,927	32,927	32,927	32,927	32,927	千円
実績値	14,210	12,969	14,936			千円
目標に対する達成率	43%	39%	45%			単年度目標
基準値に対する増減率	-4%	-13%	1%			
評価		△	△			
PLAN:取組内容	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	新型コロナウイルスの影響が落ち着き、生産者が通販の窓口となるホームページを改良したことで前年度より売り上げを伸ばすことができた。					
CHECK:分析	きじのイメージや認知不足、価格が高いことから目標値の達成には至っていない。					
ACTION:今後の対応	生産者による実店舗を持たない形態であることから、一般用は購買層を絞った通販の強化、業務用は商談会への参加を増やし販路拡大を目指す。					

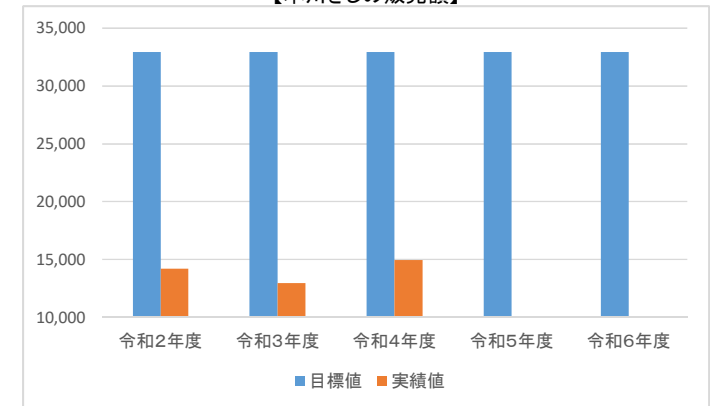
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川きじの販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

18

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	森の小さなお菓子屋さんの売上				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★森の小さなお菓子屋さんの売上	110	%	100	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	110	110	110	110	110	%
実績値	87	80	92			%
目標に対する達成率	79%	73%	84%			単年度目標
基準値に対する増減率	-13%	-20%	-8%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	新商品の開発や既存商品の見直し、SNSによる情報発信により、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上: 11,348千円 令和 4年度売上: 10,479千円					
CHECK: 分析	町内の農産物を使用した新商品の開発及び販売、SNSを利用し情報の周知を行った。 新型コロナウイルス感染症による影響が少しずつ解消されたことにより販売額は増となったが積雪により冬季の売り上げが伸びず、実績値は92%となった。					
ACTION: 今後の対応	新商品の開発やSNSによる情報発信を継続し、売上増を目指す。					

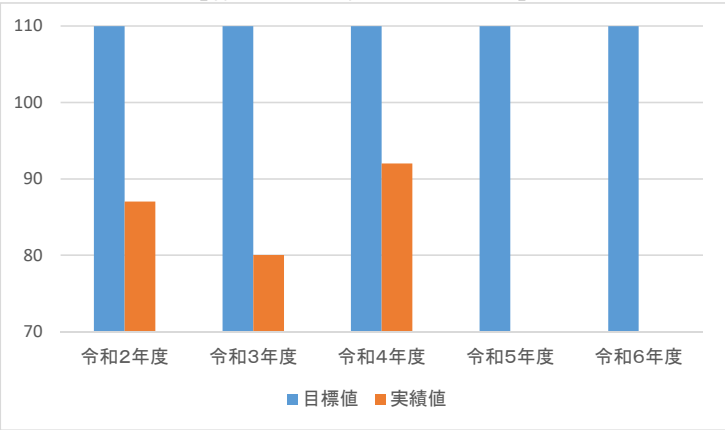
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【森の小さなお菓子屋さんの売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

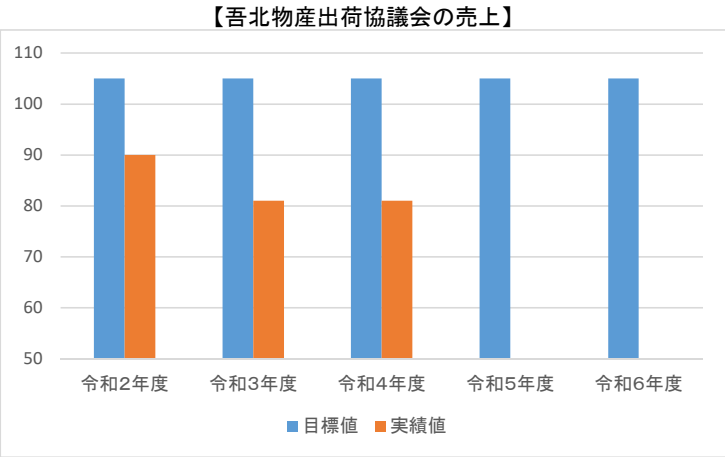
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 19

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 吾北物産出荷協議会の売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★ 吾北物産出荷協議会の売上		105	%	100	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	105	105	105	105	105	%
実績値	90	81	81			%
目標に対する達成率	-14%	77%	77%			単年度目標
基準値に対する増減率	-10%	-19%	-19%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	県農業振興センター、JA高知県吾北支所等関係機関の指導のもと、道の駅633美の里の売上が落ち込む冬季に販売(栽培)可能な有望品目を検討する。 また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートにより、地区の担い手を確保する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上: 66,674千円 令和 4年度売上: 54,086千円					
CHECK: 分析	高齢化による出荷者の出荷意欲の減衰や、出荷者数が減少してきている。 長雨や積雪による影響で販売額は伸びず、実績値は前年と同様の81%となった。					
ACTION: 今後の対応	POSシステムを活用するなど、出荷者に対して分かりやすい情報提供を行う。また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートを引き続き行い、地区の担い手を確保するなど、新しい出荷者の確保を目指す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

20

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 有害鳥獣捕獲数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★有害鳥獣捕獲数		2,400	頭(羽)	2,156	頭(羽)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	頭(羽)
実績値	1,900	1,590	2,125			頭(羽)
目標に対する達成率	79%	66%	89%			単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-26%	-1%			
評価	△	△	△			
PLAN:取組内容	野生鳥獣による農林作物の被害対策として、対象有害鳥獣の捕獲に交付金・報償金を交付する。 (鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業・有害鳥獣捕獲に関する報償金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	イノシシ857頭、サル225頭、カラス535羽、シカ250頭、ハクビシン103頭、アナグマ46頭を捕獲し、前年比率約134%となったが、目標値は下回った。					
CHECK:分析	目標値を下回った要因としては捕獲者の高齢化や人材の減少があげられる。					
ACTION:今後の対応	令和4年度は猟友会長や地区担当者と連絡をとり、地元土地を所有する町外の狩猟者との面談を行い周知活動を行った。 今後も継続して捕獲する人材の確保、周知に努める。					

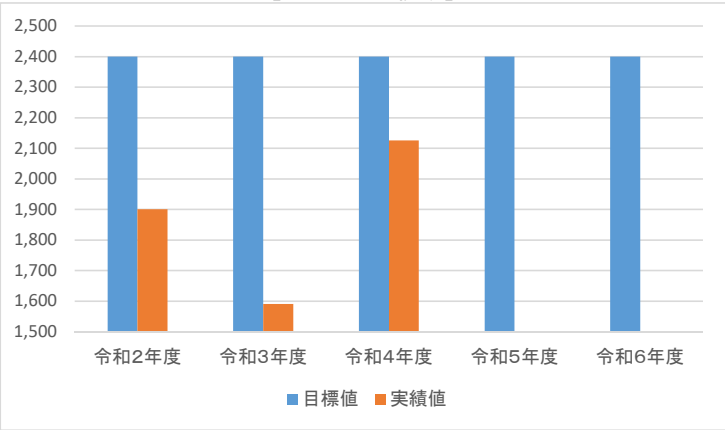
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【有害鳥獣捕獲数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

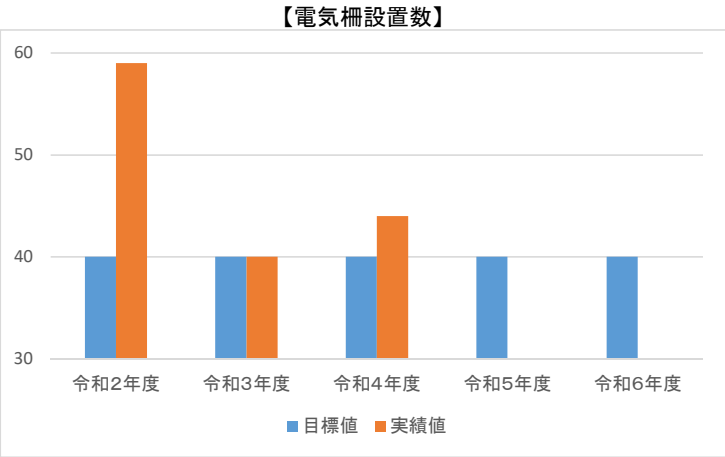
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 21

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 電気柵設置数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★電気柵設置数		40	件	46	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	40	40	40	40	40	件
実績値	59	40	44			件
目標に対する達成率	148%	100%	110%			単年度目標
基準値に対する増減率	28%	-13%	-4%			
評価	◎	○	◎			
PLAN: 取組内容	農業者等、または狩猟者等が被害防止のためのトタン・電気柵等及び有害鳥獣の捕獲に必要な檻の購入費を補助(鳥獣被害緊急対策事業、鳥獣被害対策支援総合補助金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	捕獲依頼を受けたときや被害の現地対応、広報等で周知を行った。					
CHECK: 分析	口頭・広報による周知を行ったことで、目標値を上回ったと思われる。					
ACTION: 今後の対応	今後も周知を継続し、防除による被害対策を進めていく。					

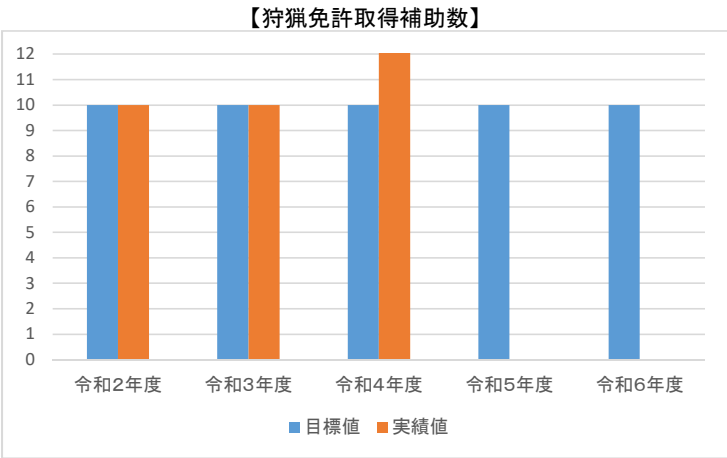
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	狩猟免許取得補助数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★狩猟免許取得補助数	10	件	8	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	10	10	14			件
目標に対する達成率	100%	100%	140%			単年度目標
基準値に対する増減率	25%	25%	75%			
評価	○	○	◎			
PLAN: 取組内容	農林水産物被害対策として、鳥獣を捕獲するために必要な狩猟免許の取得経費を補助(狩猟免許取得補助金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野地区7件、吾北地区5件、本川地区2件、合計14件で目標値を上回った。					
CHECK: 分析	ポスター掲示や広報による周知により、目標値を達成したと思われる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き広報等を活用し、事業周知に努める。					

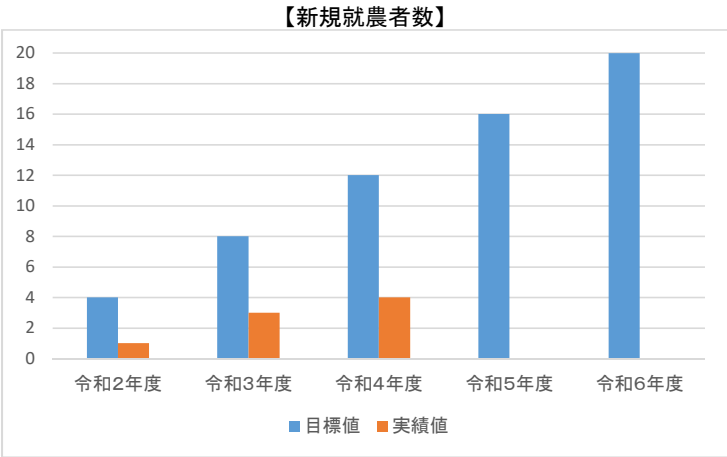
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 担い手等の確保・育成					
項目	★ 新規就農者数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数		20	人	2	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4	8	12	16	20	人
実績値	1	3	4			人
目標に対する達成率	25%	38%	33%			累計目標
基準値に対する増減率	-50%	50%	100%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援（新規就農者支援事業）					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	伊野地区で1名が就農した。					
CHECK: 分析	就農予定だった研修生がいるが、農地の確保が難しく、就農につなげることができなかった。					
ACTION: 今後の対応	就農できなかった研修生が令和5年度に就農できるよう関係機関と連携をとり支援する。 また、他の就農希望者がいないか情報収集に努め、希望者には支援制度を活用できるようサポートしていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 24・37

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農研修生				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生	6	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	4	4	6	人
実績値	1	2	3			人
目標に対する達成率	50%	100%	75%			累計目標
基準値に対する増減率	-50%	0%	50%			
評価	△	○	△			
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 ((公財)いの町農業公社研修事業等) 研修手当、資金の交付 (農業次世代人材投資事業等)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	(公財)いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、担い手確保対策として取り組んだ結果、1名の農業研修生を確保した。					
CHECK: 分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが1名にとどまった。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

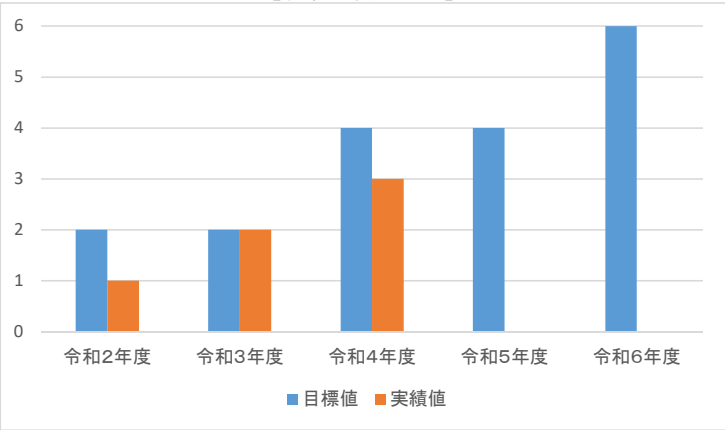
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農研修生】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	Q.ホームページの更新がされていないようです。 A.更新が遅れないよう対応する。
総合評価	△ 目標値未満

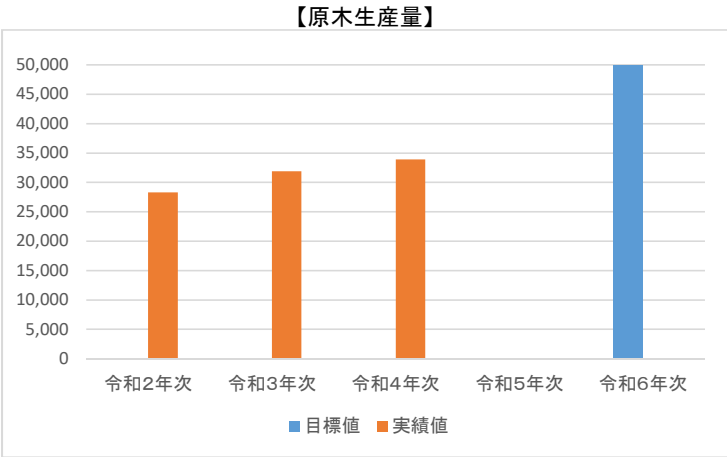
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 25

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	原木生産量				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成30年次	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★原木生産量	50,000	m ³ 以上	35,346	m ³ 以上	
	令和2年次	令和3年次	令和4年次	令和5年次	令和6年次	単位
目標値	-	-	-	-	50,000	m ³ 以上
実績値	28,286	31,861	33,899			m ³ 以上
目標に対する達成率	57%	64%	68%	R2～R4 暫定値		単年度目標
基準値に対する増減率	-20%	-10%	-4%			
評価	評価なし	評価なし	評価なし			
PLAN:取組内容	町産材の安定供給体制の構築(森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、「吉野川」水源の森整備事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:搬出間伐A=23.9ha(V=2,948m ³)、森林作業道開設L=5,305m 「吉野川」水源の森整備事業:搬出間伐A=3.36ha(V=366m ³)、森林作業道開設L=845m 森林整備緊急対策支援事業:搬出間伐A=0ha(V=0m ³)、森林作業道開設L=0m 森林資源循環利用促進事業:皆伐A=9.26ha(V=4,847m ³) 森林(もり)づくり交付金事業:森林作業道開設L=0m					
CHECK:分析	海外の木材需要増により一時木材価格は上昇したが、価格の上昇により国内の木材需要は低下傾向にある。林業事業体においては素材生産から、事業維持のため原木生産を伴わない森林整備へ事業の軸を移したものと考えられる。					
ACTION:今後の対応	林業事業体の原木生産基盤の充実に向けた支援を継続的に実施する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

26

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	林道整備(開設)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和2年度	
	令和6年度				実績等	
土木課・吾北建設課・本川産業建設課	★林道整備(開設)	4,000	m	1,171	m	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,400	1,900	2,600	3,200	4,000	m
実績値	1,171	2,109	2,987			m
目標に対する達成率	84%	111%	115%			累計目標
基準値に対する増減率	0%	80%	155%			
評価	△	◎	◎			
PLAN: 取組内容	造林、保育、間伐等の適切な森林管理の推進や森林整備の低コスト化を図るとともに、木材の安定供給や更なる原木増産を実現するための路網整備					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和3年度 ・森林環境保全整備事業(林業専用道葛原山線線開設工事) L=56m ・森林環境保全整備事業(林道越裏門大森線開設工事) L=112m ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線開設工事) L=280m ・山のみち地域づくり交付金事業(林道大野～高樽線開設工事) L=490m 令和4年度 ・森林環境保全整備事業(林道越裏門大森線開設工事) L=494m ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【2工区】開設工事) L=154m ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【4工区】開設工事) L=230m					
CHECK: 分析	着実な林内路網整備は実現し、目標としている開設延長は達成できた。					
ACTION: 今後の対応	適正な森林管理や木材の安定供給など森林資源を有効に活用するため、新たな林内路網整備を計画するなど、更なる林業振興の発展に向けて路網整備の推進を図る。					

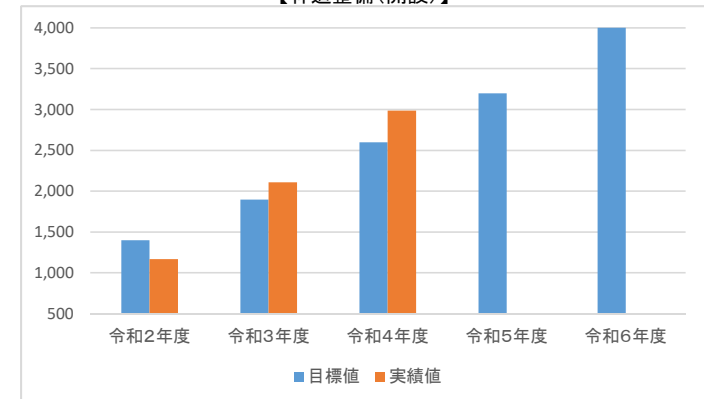
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【林道整備(開設)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

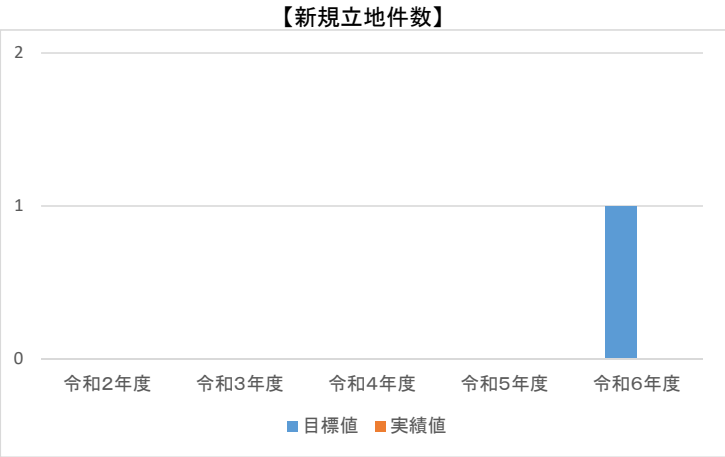
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 27

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	新規立地件数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★新規立地件数	1	件	1	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	1	件
実績値	0	0	0			件
目標に対する達成率	-	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-100%	-100%		
評価	評価なし	評価なし	評価なし			
PLAN: 取組内容	企業立地の取り組み					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和4年度は事務所・工場等の新設は無かった。 県内の製造業事業所から工場用地についての問い合わせ有り、現在協議中。 廃業となった紙会社工場跡について持ち主から企業誘致に相談を受けた。 高知県からIT系事務所の誘致について意向確認。					
CHECK: 分析	昨年度までと比べて、具体的な事業所開設や物件売買の相談があった。 創業に必要な要件等の確認を行い、問題点をクリアして創業に向けて進んでいる。					
ACTION: 今後の対応	県や商工会と連携しながら、規制緩和により企業立地の働きかけを推進する。 職種や事業規模により課題や必要な対応が異なるため、個々に応じた創業支援を実施していく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

28

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2	8	4			事業所
目標に対する達成率	100%	400%	400%			累計目標
基準値に対する増減率	-71%	14%	-43%			
評価	○	◎	◎			
PLAN: 取組内容	■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月）					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	いの町産業振興奨励金（高知食糧（株）たまごセンター）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（6件：MATE、ラグーン、urtukka、楽家、廣福堂、推し鶏）を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。 新規開業（4件：廣福堂（雑貨）、うり坊（居酒屋）、はたけ（居酒屋）、UKIKI COFFEE STAND（コーヒーショップ）） R3年度実施した空き店舗・空き家・空き地等の貸し出しについての意向調査結果を踏まえ、比較的すぐに使えるような物件をどうリノベーションしてにぎわい作りに活用できるかLLPより提案を受けた。					
CHECK: 分析	ここ数年、安定して新規出店がある。 新規出店の要望はあるが、利用可能な空き店舗が少なく出店機会を逃している。 新しく開業した店舗に訪れた方や移住された方等、自分もいの町の商店街で出店をしたいとの要望を聞く。					
ACTION: 今後の対応	使える空き店舗の掘り起しが必要。れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。 新規出店した事業者の情報等を知ってもらう機会を作る。					

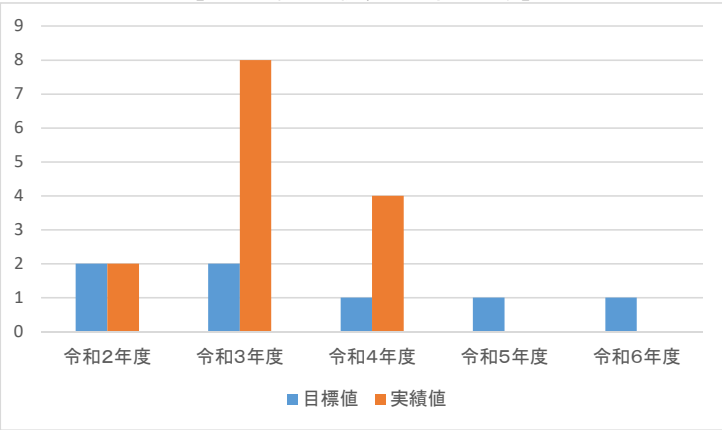
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価（意見等）

意見	Q.空き店舗対策のホームページにたどりつけない。 A.分かりやすいホームページ作成に努める。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 29

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	② 紙産業の振興					
項目	★ 伊野製紙工業会会員の売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★伊野製紙工業会会員の売上		23,000	百万円	23,319	百万円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	百万円
実績値	23,108	24,290	22,000			百万円
目標に対する達成率	100%	106%	96%			単年度目標
基準値に対する増減率	-1%	4%	-6%			
評価	◎	◎	△			
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 伊野製紙工業会会員の売上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和4年度 ・19社 ・うち、町内17社について 年間売上総額 220億円 正規従業員数 850人					
CHECK: 分析	コロナ禍・ウクライナ情勢に起因する物価高騰による厳しい経済状況の中、国や県の支援制度を活用しながら、コストの削減、マーケティングによる業態の変化、商品の付加価値の増加等によって収益の確保に努力している。					
ACTION: 今後の対応	SDGsを意識した商品の開発研究、生産技術の向上、生産設備の導入の促進等を行い、安定した生産ラインの確保・販路の拡大を図ることで売上増を目指す。					

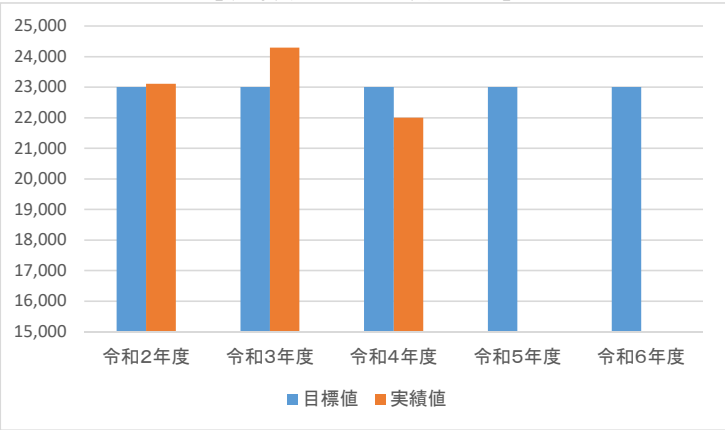
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【伊野製紙工業会会員の売上】

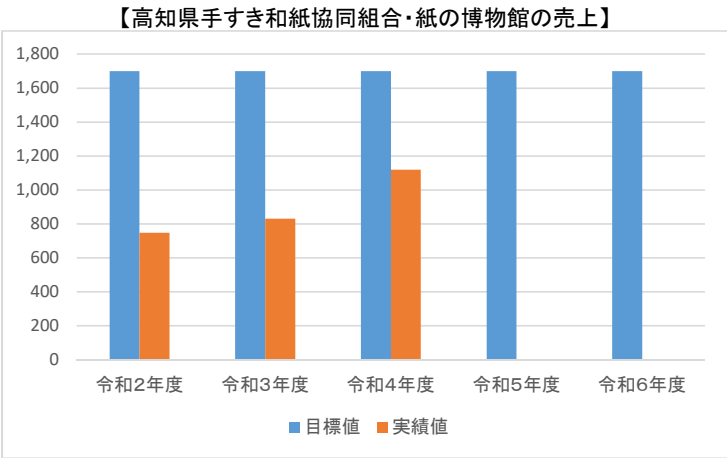


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	② 紙産業の振興					
項目	★ 高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上			1,700	万円	906 万円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	万円
実績値	747	829	1,118			万円
目標に対する達成率	44%	49%	66%			単年度目標
基準値に対する増減率	-18%	-8%	23%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 紙の博物館(販売コーナー)の売上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和4年度 紙の博物館販売コーナー売上11,181,912円(前年比2,895,008円増)					
CHECK: 分析	・入場者は回復傾向にある。(入場者前年比134.9%、R元年比93.2%)新型コロナウイルス感染症拡大から3年が経過し、感染防止対策が定着・継続して取り組まれてきたこと、NHK朝の連続テレビ小説「らんまん」により高知県が注目されていること、令和4年10月に海外渡航制限が緩和されたことなどが要因と考えられる。 ・9/14(台風14号)、12/24AM(大雪)は臨時休館した。 ・開催する展示会の内容により入場者に影響がある。					
ACTION: 今後の対応	令和2年4月より、紙の博物館販売コーナー運営が手すき和紙協同組合への委託から町の直営となった。ディスプレイやポップ表示の変更など、継続して魅力的な売り場づくりに努める。販売コーナーのみの利用は無料で入場できることをPRし、販売コーナー利用増に努め、売り上げ増を目指す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

31

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	手すき職人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★手すき職人数		7	人	6	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7	7	7	7	7	人
実績値	6	6	6			人
目標に対する達成率	86%	86%	86%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 手すき職人数					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	○高知県手すき和紙協同組合員 6名(田村晴彦、尾崎伸安、田村亮二、田村寛、浜田兄弟和紙製作所、友草喜美枝) ○組合員以外の手漉き職人 2名(尾崎清貴・北岡辰之)					
CHECK: 分析	令和2年度末で長期研修を終了した研修生が1名おり、手すき職人となるべく、親元の工房や土佐和紙工芸村和紙体験実習室で経験を積みながら土佐和紙振興に関わっている。 ・高知県ものづくり総合技術展への出展、KAMI祭へ参加 ・奈良県の和紙工房、栲原町かみこやで視察研修の実施 後継者育成の支援があるが受入体制が整っていないことから、親族以外での長期研修の受け入れができていない状態にある。					
ACTION: 今後の対応	高齢化等により町内の手すき和紙協同組合員は減少している。 土佐和紙総合戦略の基本方針として「後継者育成」がある。親族以外での長期研修の受け入れや複数人の講師による研修体制の構築、実施主体の要件緩和等について、手すき和紙協同組合・高知県工業振興課・紙産業技術センター等と協議を行い、研修制度を使いやすいものにしていく。					

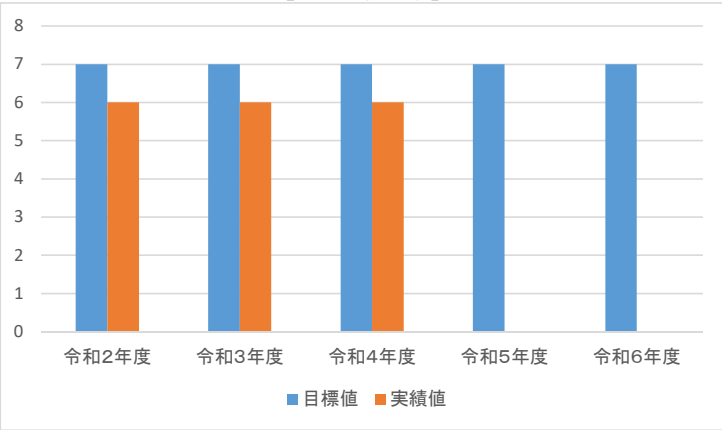
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【手すき職人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

32

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	直販店の販売額				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★直販店の販売額	27,270	万円	25,110	万円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	27,270	27,270	27,270	27,270	27,270	万円
実績値	25,400	25,687	26,453			万円
目標に対する達成率	93%	94%	97%			単年度目標
基準値に対する増減率	1%	2%	5%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	新規部員の獲得や、直販部員によるイベントの実施、他主催のイベントへ参加し集客および知名度向上に努めた。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	紙博直販所 1,209 JAコスモス伊野直販所 3,869 レストパークいの 7,570 工芸村特産センター 1,348 水辺の駅あいの里仁淀川直販所 1,323 ふれあいの里柳野 691 道の駅633美の里物産館 5,409 いの町本川直販所 466 伊野町農産物直販所 4,568 9カ所合計 26,453					
CHECK: 分析	直販所の販売額は、昨年度を上回ったが目標値を達成することはできなかった。新型コロナウイルス感染症対策も定着し、徐々に直販所の集客も回復してきているが、生産者の高齢化に伴い、各直販所での農産物の出品が減少してきている。					
ACTION: 今後の対応	今後も新規部員の獲得や店頭販売などのイベント開催等による集客の回復を図り、農家の所得向上と都市住民との交流を通じた農林水産業の活性化に努める。					

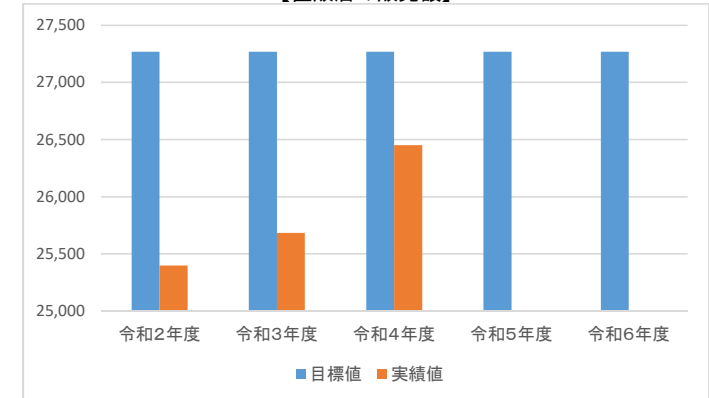
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【直販店の販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

33

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)	65	%	72.8	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	65	65	65	65	65	%
実績値	62	58	53			%
目標に対する達成率	96%	89%	81%			単年度目標
基準値に対する増減率	-14%	-20%	-27%			
評価	△	△	△			
PLAN:取組内容	学校、認定こども園、保育園の給食食材における県内産品の活用割合(令和2年度は重量ベース、令和3年度から金額ベースに変更になった。)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	上記実績のとおり。(保育園・認定こども園 52.2%、学校 52.65%)					
CHECK:分析	※地域食材の使用状況調査ではあるが、いの町産ではなく、高知県産の調査となる。 令和3年度に比べて地場産物の利用率が低下した。 給食の食材価格が高騰しているため、食材納品業者がこれまでの食材価格と同等程度になるよう、県内産より比較的安価な県外産の食材を選び、納品してくれていたことが要因として考えられる。					
ACTION:今後の対応	県内産と県外産の食材価格を比較し、給食費の範囲内で使用できる県内産・いの町産の食材を積極的に使用していくよう食材納品業者に働きかける。					

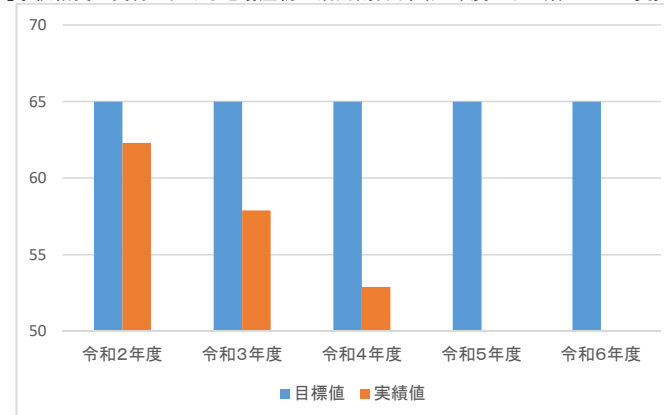
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

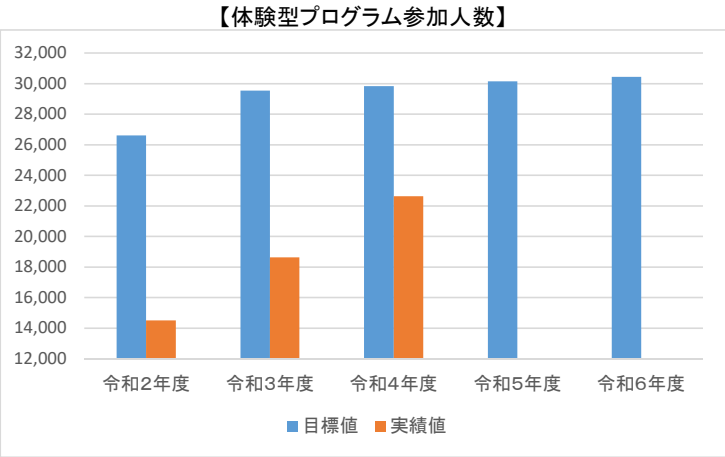
総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 34

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	魅力ある新メニューの開発強化				
項目	★	体験型プログラム参加人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験型プログラム参加人数	30,440	人	28,428	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	26,599	29,546	29,841	30,139	30,440	人
実績値	14,489	18,612	22,629			人
目標に対する達成率	54%	63%	76%			単年度目標
基準値に対する増減率	-49%	-35%	-20%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	○仁淀ブルー体験博での町内プログラム参加者: 102名 ○受入環境整備事業: 観光案内看板張替等 ○案内機能強化事業: デジタルスタンプラリーシステム整備、草花ガイド養成 ○広域観光ルートのプロモーション動画制作(れんけいこうち)					
CHECK: 分析	高知県観光トク割キャンペーンや全国旅行支援の影響もあり、緩やかではあるものの全体的に上向き加減となった。仁淀ブルー体験博の開催により町内外からの参加者も多く、新規顧客の獲得や町内全域への誘客効果が見られた。					
ACTION: 今後の対応	大型客船の入港も再開され、国内旅行者だけでなく海外旅行者数がコロナ前の水準に戻ることが想定される。新しい生活様式下での観光客受入体制を整えるとともに、関係機関と連携・協力しながら地域資源を活用した観光商品の造成、体験メニューの磨き上げを行い集客促進を図り滞在型観光プラン整備計画を推進していく。					

評価項目	◎ 目標値以上	総合評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等		○ 目標値と同等
	△ 目標値未満		△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了		× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

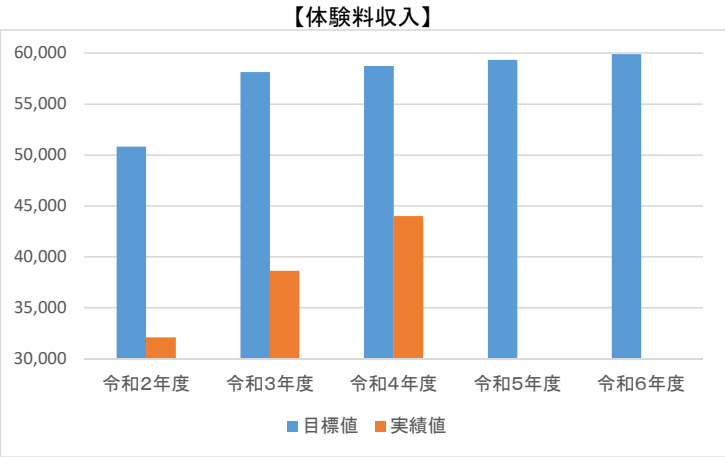
基本目標1

連番 35

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	魅力ある新メニューの開発強化				
項目	★	体験料収入				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験料収入		59,903	千円	56,687	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50,799	58,141	58,723	59,310	59,903	千円
実績値	32,065	38,621	43,996			千円
目標に対する達成率	63%	66%	75%			単年度目標
基準値に対する増減率	-43%	-32%	-22%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	○入込客数報告収入: 43,496,597円 ○仁淀ブルー体験博体験プログラム収入: 499,500円					
CHECK: 分析	高知県観光トク割キャンペーンや全国旅行支援の影響もあり、緩やかではあるものの全体的に上向き加減となった。仁淀ブルー体験博の開催により町内外からの参加者も多く、新規顧客の獲得や町内全域への誘客効果が見られた。10月～11月に開催された仁淀ブルー体験博では観光資源の高付加価値化を目指してプログラムの造成を行い、この期間中にしか体験できない時別感が功を奏し体験料の増加につながった。					
ACTION: 今後の対応	大型客船の入港も再開され、国内旅行者だけでなく海外旅行者数がコロナ前の水準に戻ることが想定される。「仁淀ブルー体験博」の取り組みを通して体験メニューの磨き上げや地域資源の活用を積極的に図るなど、体験メニューの付加価値を高め客単価をアップさせることにより体験料収入増加の取り組みを進めていく。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

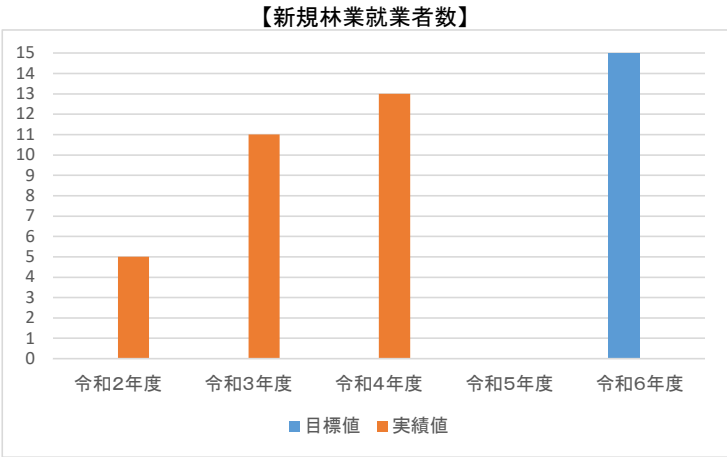
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 38

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規林業就業者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規林業就業者数	15	人	6	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	15	人
実績値	5	11	13			人
目標に対する達成率	33%	73%	87%			累計目標
基準値に対する増減率	-17%	83%	117%			
評価	評価なし	評価なし	評価なし			
PLAN: 取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1事業体で2名採用されている。					
CHECK: 分析	令和元年度実績と比較し減少となっているが、就業体験希望者の実習生指導(2事業体7名)を行うなど、新規林業就業者数の増加に向けた取り組みを積極的に行っている。					
ACTION: 今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の雇用促進に向けた取り組みへの支援を継続して行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

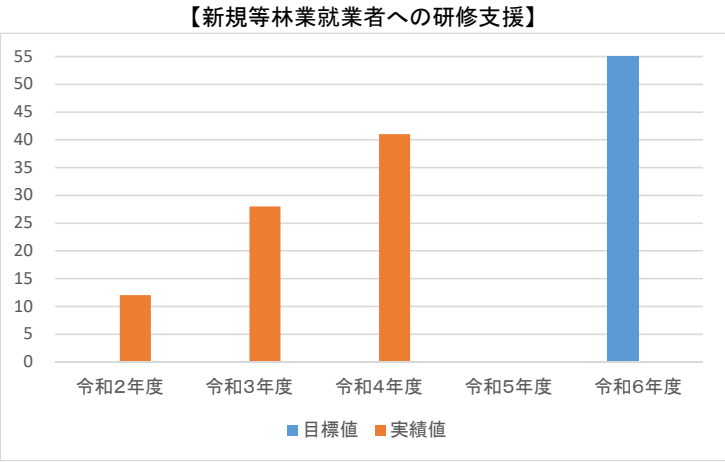
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 39

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規等林業就業者への研修支援				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規等林業就業者への研修支援	55	人	11	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	55	人
実績値	12	28	41			人
目標に対する達成率	22%	51%	75%			累計目標
基準値に対する増減率	9%	155%	273%			
評価	評価なし	評価なし	評価なし			
PLAN: 取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	●1年目: 2名 ●2年目: 6名 ●3年目: 5名 合計13名					
CHECK: 分析	令和元年度実績と比較し1年目の研修人数が4名減少、2年目5名増、3年目1名増。 各林業事業体は年間を通じて職員募集を行っており、令和4年度の事業対象人数は令和元年度と比較し2名増となった。					
ACTION: 今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を継続して行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	Q.1年目(R4)研修生が2名で、少なく感じるが何か理由があるか。 A.年度間の増減はどうしても生じる。新規就業者は2名と少ないが、2名とも20才代と一定明るい兆しも見える。今後とも、就職説明会へ積極的な参加等、林業経営体が行う新規就業者確保に向けた取組への支援を継続していく。
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 40

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	イ	人財の育成				
	①	各領域の専門家集団の養成				
項目	★	大学等との連携した事業展開検討				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★大学等との連携した事業展開検討	3	件	2	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	2	1	1			件
目標に対する達成率	67%	33%	33%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-50%	-50%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	高知大学地域連携推進センターと連携した取組み					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	柳野地区において、ホームページ・ブログづくりサポート、イタドリレシピ考案、そばの刈り取りなどの活動を行った。					
CHECK: 分析	活発的に活動されている地区は、高知大学と連携した活動を行い、広がりを見せているものの、その他の活動については、大学とのマッチングの機会や連携事業の話し合いはなかった。マッチングの機会創出には、まず、ニーズの掘り起こしが必要と考える。					
ACTION: 今後の対応	令和5年度から中山間地域の雇用創出及び生産年齢人口の増加及び遊休施設の利活用を目的とした創業支援事業を実施することとしており、今年度は戦略策定を行うにあたり、地域資源・課題の調査・分析・磨き上げを実施することとしている。この事業において、大学と連携し取り組んでいきたいと考えている。					

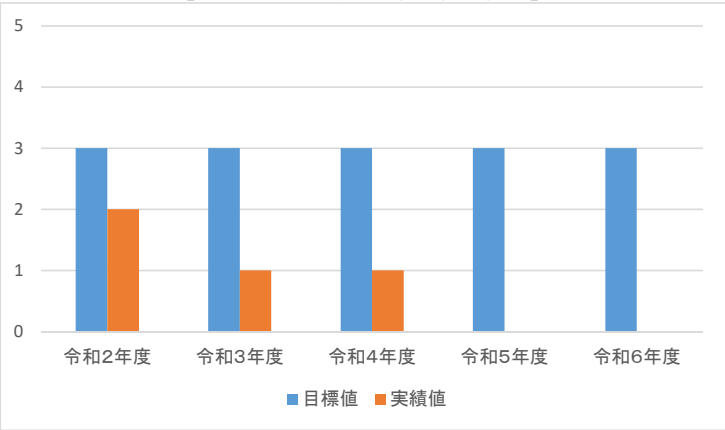
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【大学等との連携した事業展開検討】



推進委員会による検証評価(意見等)

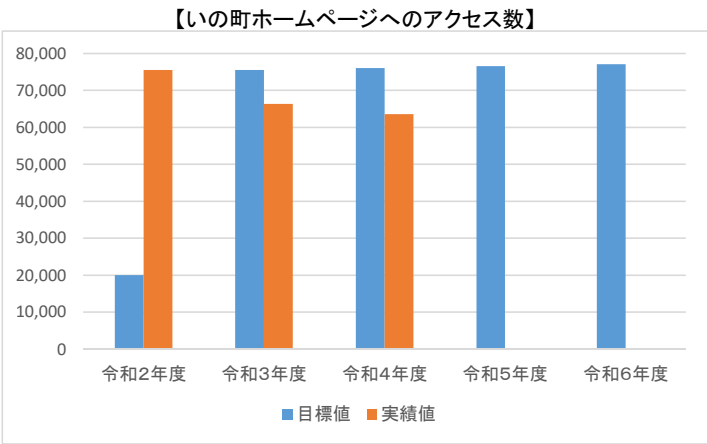
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標2 新しい人の流れをつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)いの町を知ってもらう	1	総合政策課	いの町ホームページへのアクセス数	回以上	20000	75,509	75,500	66,266	76,000	63,535	△	77,000	
	2	教育委員会	i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	%以上	-	-	80	80.8	80	84.5	◎	80	
	3	教育委員会	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	%以上	85	72.4	85	70.9	85	72.4	△	85	
	4	教育委員会	教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加延べ人員	人以上	150	157	150	173	150	69	△	-	○
	5	教育委員会	ぶっくりハート体操の取組み人数	人以上	-	701	-	696	-	1,059	評価なし	2,000	○
	6	教育委員会	ぶっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	商品	-	0	-	0	-	0	評価なし	8	○
	7	教育委員会	アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者	人以上	-	0	-	0	-	0	評価なし	-	○
(2)いの町への関わりをつくる	8	総合政策課	ふるさと納税寄付件数	件以上	8,200	12,280	8,200	11,967	13,000	12,980	○	13,000	
	9	総合政策課	移住相談者数	件(年平均)以上	300	193	300	213	300	178	△	300	
	10	総合政策課	移住相談後、いの町を案内した人数	人(年平均)以上	50	56	50	40	50	32	△	50	
(3)いの町に住んでいただく	11	総合政策課	県外からの移住者数	組(年平均)以上	10	11	10	23	10	10	○	10	
	12	本川教育事務所	町外から山村留学生新規留学生数	人(年間)以上	3	7	3	4	6	8	◎	7	
	13	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	1	4	◎	7	○

基本目標	2新しい人の流れをつくる					
基本的方向	(1)いの町を知ってもらう					
具体的な施策	(ア)「いの町を知ってもらう！」ための取り組み					
	①PR・情報発信					
項目	★いの町ホームページへのアクセス数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★いの町ホームページへのアクセス数		77,000	回以上	43,502	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	20,000	75,500	76,000	76,500	77,000	回以上
実績値	75,509	66,266	63,535			回以上
目標に対する達成率	378%	88%	84%			単年度目標
基準値に対する増減率	74%	52%	46%			
評価	◎	△	△			
PLAN: 取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」を運用し、きめ細かに当町の移住支援事業を紹介する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	サイト上では、空き家バンク物件と中間管理住宅の紹介、ハローワークと農林業の求人情報を掲載し、『住まい』と『仕事』両方の情報発信を行ったが、実績値を下回った。					
CHECK: 分析	トップページのデザインや町民図鑑の情報提供が古くなっており、魅力の低下も原因となっている。					
ACTION: 今後の対応	トップページデザインの検討を行い、魅力があるサイトを作成する。 空き家バンク物件数の増加を図るため、空き家調査地域の計画を立て重点的に調査を行うことで、物件登録の増加を図り、随時新しい情報をホームページで公開することで、アクセス数の増加を図る。 そして、現在のホームページの情報発信の対象が移住希望者向けであることから、空き家で生じるデメリットや補助制度の紹介など空き家所有者に向けた情報発信も行う。 また、町民図鑑の更新も行い、先輩移住者などがいの町でどのような暮らしをしているのか移住希望者に知ってもらい、いの町での暮らしの参考にしよう。					

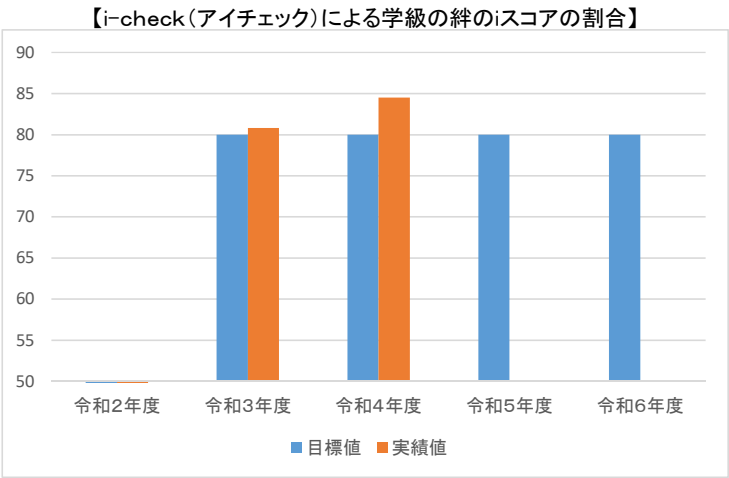
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	2 新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1) いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア) 「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	② いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★ i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
教育委員会	★i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	80	%以上	-	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	-	80	80	80	80
実績値	-	80.8	84.5		
目標に対する達成率	-	101%	106%		
基準値に対する増減率	-	-	-		
評価		◎	◎		
PLAN: 取組内容	目指す教育の姿を「豊かな対話を通して、学び続ける子ども」に設定し、教育特使菊池省三氏とともに、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による話し合いのある授業の成立」を小中学校で実践していく。 ・各校が教育特使を講師として招聘した公開授業を開催し、他校の取組を自校の取組の参考としていく。				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	・先生と子ども、子ども同士の関係性を築くために、先生が子どもの良さや頑張りを「ほめて、認めて、励ます」ことをベースに行い、温かい関係性のある学級づくりを行った。 ・i-checkの1回目は、小学校73.8%、中学校66.7%、小中学校全体で71.4%であった。年度末の2回目は、小学校88.0%、中学校76.2%、小中学校全体で84.5%であった。				
CHECK: 分析	小中学校ともに、2回目で大きく上昇した。多くの学校・学級で温かい関係づくりが行われた結果だと考えられる。「ほめて、認めて、励ます」教育が定着してきたと考える。				
ACTION: 今後の対応	先生と子ども、子ども同士の関係性を築くために、「ほめて」「認めて」「励ます」ことをベースとした教育活動を継続し、誰一人取り残さない、安心・安全な学校・学級づくりを進める。				

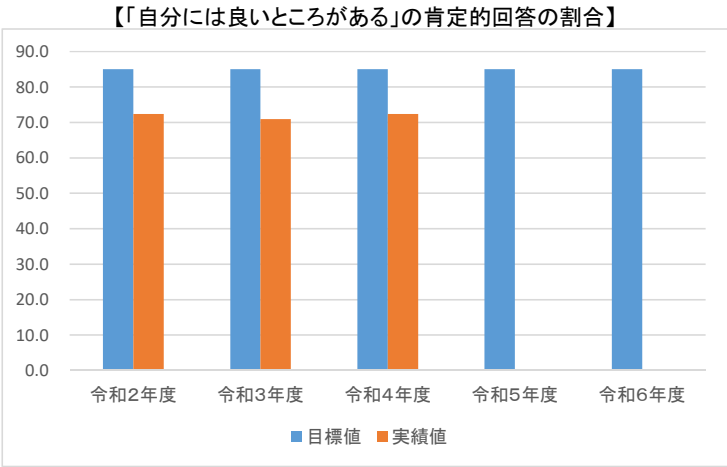
評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了
総合評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	小中学校とも85	%以上		76.3	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	%以上
実績値	72.4	70.9	72.4			%以上
目標に対する達成率	85%	83%	85%			単年度目標
基準値に対する増減率	-5%	-7%	-5%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	・目指す教育の姿を「豊かな対話を通して、学び続ける子ども」に設定し、教育特使菊池省三氏とともに、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による話し合いのある授業の成立」を小中学校で実践していく。 ・各校が教育特使を講師として招聘した公開授業を開催し、他校の取組を自校の取組の参考としていく。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	先生と子ども、子ども同士の関係性を築くために、道徳教育の充実や「ほめて、認めて、励ます」教育が定着し、肯定的な回答の割合が1.5%増えた。					
CHECK: 分析	i-checkの「学級の絆」、学校評価アンケートの「自分には良いところがある」ともに、肯定的な回答は増加したが、「自分には良いところがある」は目標値に届かなかった。仲間との協働活動の場面や、物事を最後までやり遂げ達成感を感じる機会が必要である。					
ACTION: 今後の対応	今後も道徳教育の充実と「ほめて、認めて、励ます」教育を土台とし、授業や行事などで協働活動の場や個々の課題にあった学びを行い、個別最適な学びによる一人一人を伸ばす教育を進めていく。					

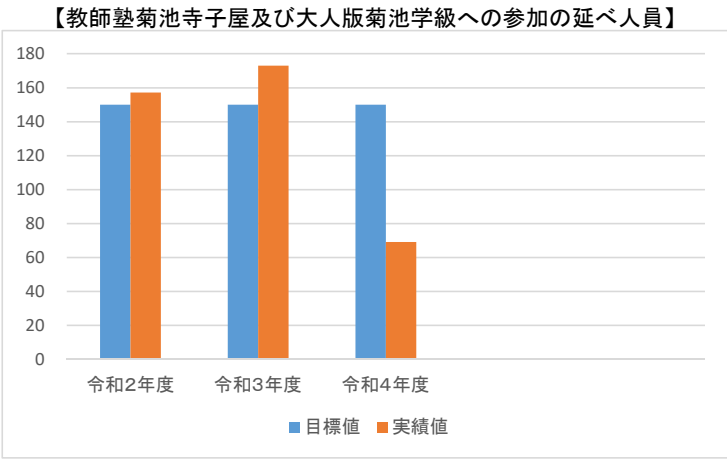
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	2	新しい人の流れをつくる			
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう			
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み			
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」			
項目	★	教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値：令和元年度	
	令和6年度			実績等	
教育委員会	★教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員	-	人以上	318	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位 人以上 人 累計目標	
目標値	150	150	150		
実績値	157	173	69		
目標に対する達成率	105%	115%	46%		
基準値に対する増減率	-51%	-46%	-78%		
評価	◎	◎	△		
PLAN：取組内容	・教育特使が来町した日の勤務時間内外で、教育特使の授業観、指導論、指導技術を学ぶ機会を場を設け、町の目指す教育の姿を達成していくために必要な教員を育成していく。				
DO：実績 (事業内容等を記載)	・4回開催し、69名が参加した。 ・感染防止対策としてオンラインでの参加を継続した。				
CHECK：分析	・当初は5回予定していたが、日程調整により4回の開催となった。 ・オンライン参加を継続することで、参加しやすくなったとの意見もあった。 ・昨年度と比較すると開催回数は半分(8回で173名)となり、参加者数は1/3となったが、最終日は30名弱の参加があった。 ・町外から継続的な参加者があり、教員の学びの場として定着したと考えられる。				
ACTION：今後の対応	令和4年度での菊池学園事業終了により本施策を終了するが、これまでの学びを教育研究所のグループ研がまとめ冊子を令和5年度に各校に配付することで、引き続き実践をしていく先生方を支援する。				

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番	5
----	---

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぷっくりハート体操の取組み人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぷっくりハート体操の取組み人数	2,000	人以上	-	-	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	2000	人以上
実績値	701	696	1,059			人
目標に対する達成率	-	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	評価なし	評価なし	評価なし			
PLAN: 取組内容	・町内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の運動会やぐりぐらひろばでぷっくりハート体操を、子どもと一緒にやる。 ・ほけん福祉課主催「るんるん若がえる体操」に同行し、高齢者と一緒にぷっくりハート体操を行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	・7園と3校の運動会、学校行事、よさこい演舞等でぷっくりハート体操を行った。子どもだけではなく、保護者にもぷっくりハートについて、体操やキャラクターなどが定着してきた。 ・感染拡大防止のため、ほけん福祉課の「るんるん若がえる体操」に参加ができなかったが、R4年度も吾北地域の高齢者と認定こども園との交流会に参加はできた。また、吾北分校の生徒会執行部とも一緒に体操することができ、新たな関わりを構築できた。					
CHECK: 分析	・園・学校の運動会や行事以外に参加(よさこい演舞・音楽会・交通安全指導)することで、地域住民へのPRができた。 ・R4年度は他課からの依頼があったことから、庁内での認知度や活用意識が高まってきている。					
ACTION: 今後の対応	・町内のイベント等に参加していけるよう他課と連携していく。 ・子どもや保護者や地域住民に、ぷっくりハート(自尊心)の大切さを啓発するために、活動前にぷっくりハートについて説明を行う。					

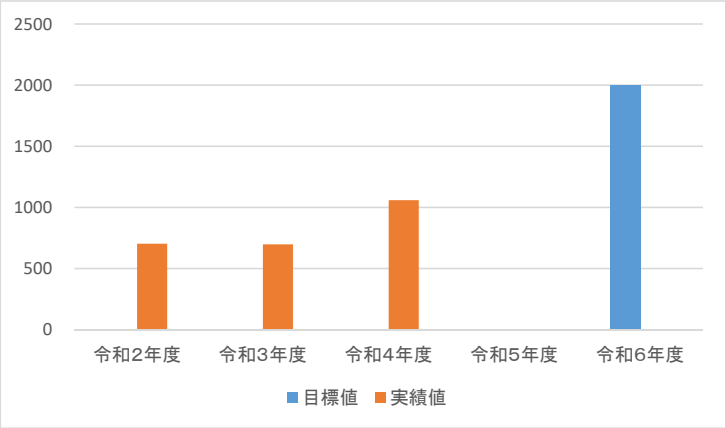
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぷっくりハート体操の取組み人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

6

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	8	商品	-	商品	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	8	商品
実績値	0	0	0			商品
目標に対する達成率	-	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	評価なし	評価なし	評価なし			
PLAN: 取組内容	他課等と連携し、ぷっくりハートちゃんをモチーフにしたノベルティ商品を開発し、町内外にぷっくりハートのPR活動につなげる。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	他課の主催イベントに参加して事業者へぷっくりハートちゃんをPRすることができたが、商品開発まで至らなかった。					
CHECK: 分析	・商工会青年部へぷっくりハートちゃんのPRができ、今後の進展につながる可能性が出来た。 ・町外事業者へのPRをしていく必要がある。					
ACTION: 今後の対応	・他課を通したりして町内の事業者と個別につながり、事業を展開していく。 ・ふるさと納税企業版にぷっくりハートを掲載するなどして、町外事業者への広報活動を行う。					

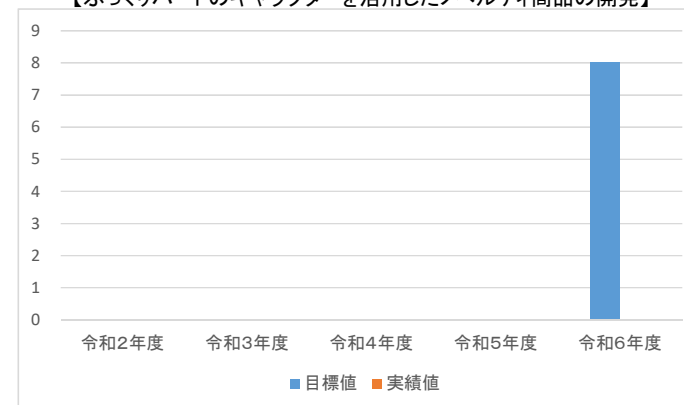
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番	7
----	---

基本目標	2	新しい人の流れをつくる			
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう			
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み			
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」			
項目	★	アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者			
担当課	重要業績評価指標 (KPI)			基準値：令和元年度	
	令和6年度			実績等	
教育委員会	★アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者	-	人以上	-	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		単位
目標値	-	-	-		人以上
実績値	0	0	0		人
目標に対する達成率	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-		
評価	評価なし	評価なし	評価なし		
PLAN：取組内容	・自分自身の心と向き合いマネジメントする力の育成を目指し、町内の保育士や保育教諭や保健師、ソーシャルワーカー等がアンガーマネジメントファシリテーターの資格を習得し、あらゆる世代の町民への研修を実施することで、いじめや不登校、児童虐待、高齢者等への虐待の未然防止・件数減少につなげる。				
DO：実績 （事業内容等を記載）	研修について情報収集・提供を行ったが、資格取得者はいない。				
CHECK：分析	感染防止対策のため、オンライン研修への参加を検討したが、日程等が調整できず参加できなかった。				
ACTION：今後の対応	令和4年度での菊池学園事業終了により本施策を終了するが、ファシリテーターによる講演活動を継続するなどして、情報提供は継続する。				

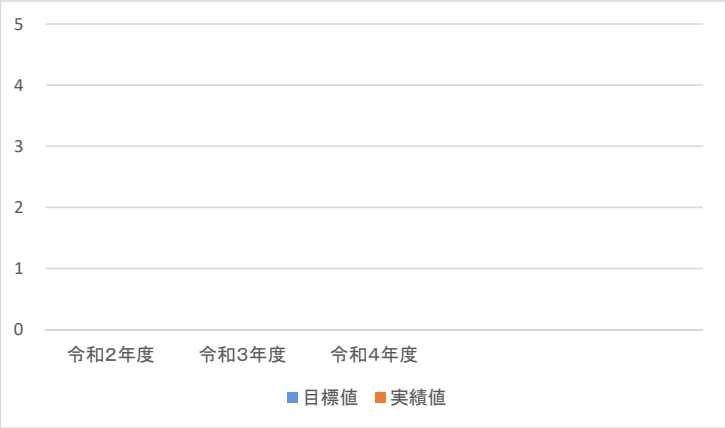
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者】



推進委員会による検証評価(意見等)

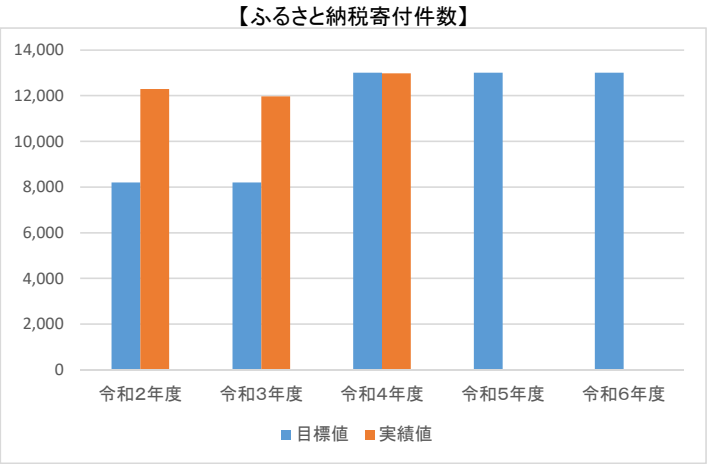
意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	①	「関係人口」づくり				
項目	★	ふるさと納税寄付件数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★ふるさと納税寄付件数		13,000	件以上	10,725	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	8,200	8,200	13,000	13,000	13,000	件以上
実績値	12,280	11,967	12,980			件
目標に対する達成率	150%	146%	100%			単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	21%			
評価	◎	◎	○			
PLAN: 取組内容	返礼品のバリエーションや登録数を増やすために、新規事業者の開拓を行う。 返礼品情報を分かり易く伝えるために、ポータルサイト内の返礼品写真の見直しおよび撮り直し。 露出度をあげるために掲載サイト数を増やす。 人気返礼品の数量の確保 県内寄付額上位市町村で構成している自治体連携に加入し、共同返礼品の出品や、意見交換会への参加 仁淀川流域(日高村、土佐市)の市町村と定期便を考案し、受付・発送					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	返礼品のバリエーションや登録数を増やした。 返礼品情報を分かり易く伝えるために、ポータルサイト内の返礼品写真の撮り直しや商品説明文を変更した。また、露出度をあげるために掲載サイト数を1つふやし、合計6つのサイトで寄附募集を行った。 仁淀川流域(日高村、土佐市)の市町村と定期便を考案し受付・発送を行った。					
CHECK: 分析	返礼品のバリエーションを増やすことで、寄附者のニーズに応えられる品物を提供することが出来た。 仁淀川流域(日高村、土佐市)の市町村と定期便を考案し受付・発送を行ったことで、いの町以外の自治体への寄附者に対しても、一定アピールできた。					
ACTION: 今後の対応	今後も、寄附者とのコミュニケーションを図り、関係人口創出へつなげるべく、SNS発信などに力を入れていきたい。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番 9

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	②	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値：令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談者数		300	件(年平均)以上	508	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	300	300	300	300	300	件(年平均)以上
実績値	193	213	178			件
目標に対する達成率	64%	71%	59%			単年度目標
基準値に対する増減率	-62%	-58%	-65%			
評価	△	△	△			
PLAN：取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」の運用や県主催の移住フェアに参加するとともに、移住専門相談員を設置し移住相談に対し、きめ細かに対応する。					
DO：実績 (事業内容等を記載)	令和4年度の移住相談者数は178件となった。					
CHECK：分析	高知県主催の移住フェアを6月と12月にリアル開催できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で相談が多い夏の件数が少なくなり、これに伴い相談者数は昨年度と比べると減っている。					
ACTION：今後の対応	対面式での相談対応を前提としたうえで、ZOOMなどのオンラインを活用した移住相談を柔軟に対応する。また、移住専門相談員を中心として、移住支援事業の紹介やいの町の魅力発信を行い、「いの町」を移住先として選んでいただけるようきめ細やかな対応を行う。					

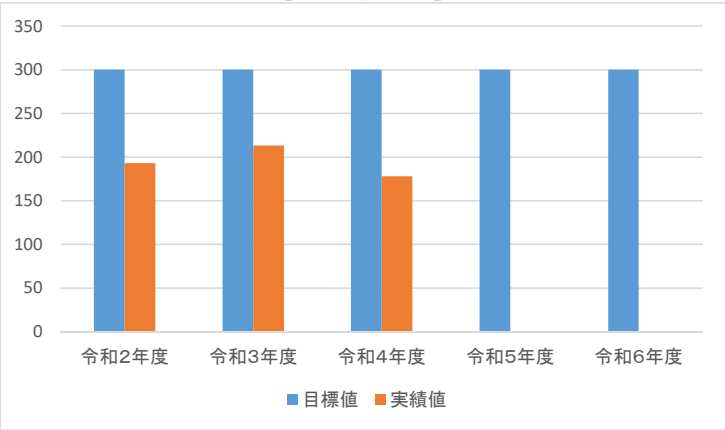
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

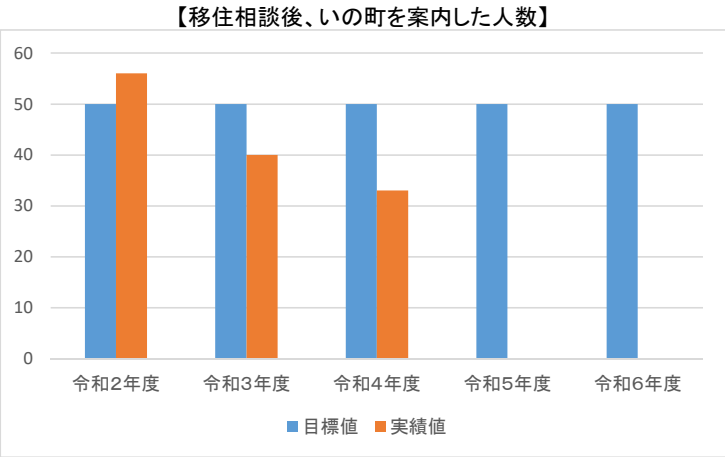
基本目標2

連番 10

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	②	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談後、いの町を案内した人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談後、いの町を案内した人数	50	人(年平均)以上	21	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	人(年平均)以上
実績値	56	40	33			人
目標に対する達成率	112%	80%	66%			単年度目標
基準値に対する増減率	167%	90%	57%			
評価	◎	△	△			
PLAN: 取組内容	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、空き家バンク物件・中間管理住宅を紹介し、移住希望者に希望の物件を案内する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、下記物件を紹介し、内見案内をした人数は下記のとおり。 空き家バンク内見者数: 32名 中間管理住宅内見者数: 1名(その後居住)					
CHECK: 分析	昨年度に比べ、案内した人数は減少したが、新型コロナウイルス感染症が少しずつ緩和され始めたため、空き家バンクの内見者数は増加傾向となった。中間管理住宅について、令和3年度は3棟整備し内覧案内したが、令和4年度は1棟整備のため内覧者数は減少している。					
ACTION: 今後の対応	移住希望者に対し、紹介できる物件が少ないことが課題となっている。移住専門相談員を中心とした地区の空き家調査を実施し、空き家バンク物件・中間管理住宅物件を確保し、内見案内者数の増加に努める。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

11

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(ア)	移住定住の促進				
項目	★	県外からの移住者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★県外からの移住者数		10	組(年平均)以上	12	組
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	組(年平均)以上
実績値	11	23	10			組
目標に対する達成率	110%	230%	100%			単年度目標
基準値に対する増減率	-8%	92%	-17%			
評価	◎	◎	○			
PLAN: 取組内容	・県主催の移住フェアへの出店 ・移住専門相談員の設置 ・空き家バンク制度、中間管理住宅制度、お試し滞在住宅 主に以上の事業を実施し、いの町への移住者の増加・人口の社会減少の抑制を図る。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	【県主催移住フェア】 6月・12月に東京・大阪で開催 【移住専門相談員の配置】 2名配置し、移住相談に対しきめ細かに対応できる体制を整備した。併せて、空き家調査も行った。 【空き家バンク・中間管理住宅】 空き家調査数: 32件 内、バンク登録物件数: 23件 中間管理住宅: 寺野地区(第6号)・加田地区(第7号)整備。第6号入居済み。第7号については令和5年度に入居者選定。 【お試し滞在住宅】 高野邸: 稼働率 5.21% 利用者: 3世帯10名 関東圏から1名、関西圏から1名の移住となった。					
CHECK: 分析	固定資産税納税通知書へ空き家に関するチラシを同封することにより、空き家に関心をもってもらうことができ、バンク登録件数が増加した。 お試し滞在住宅の利用緩和も行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が多い夏の利用が少なく、稼働率の低下となった。					
ACTION: 今後の対応	移住希望者に対し、紹介できる物件が少ないことが課題となっている。移住専門相談員を中心とした地区の空き家調査を実施し、空き家バンク物件・中間管理住宅物件を確保し、移住者の増加に努める。 空き家バンク物件登録数の増加に向けては、過去に登録に至らなかった物件に対し、再度所有者に登録について意向を確認するなど後追いをやっていく。					

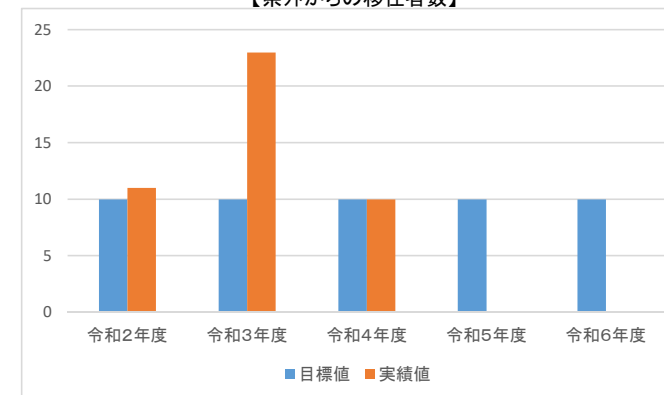
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【県外からの移住者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

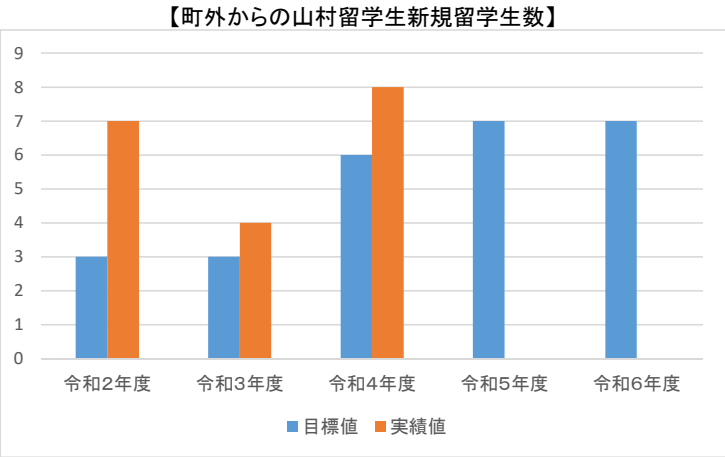
基本目標2

連番 12

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致				
項目	★ 町外からの山村留学生新規留学生数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川教育事務所	★町外からの山村留学生新規留学生数		7	人(年間)以上	7	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	6	7	7	人(年間)以上
実績値	7	4	8			人
目標に対する達成率	233%	133%	133%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-43%	14%			
評価	◎	◎	◎			
PLAN: 取組内容	本川中学校部活動指導者の雇用					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	昨年度から引き続き、北九州市出身の実力のある女性指導員を雇用し、バドミントン部活動の充実した学校として中学校のホームページで情報発信を行っている。当該指導員は、スポーツ学を学んでおり、培った知識を十分に発揮し、生徒の生活面、精神面でのフォローアップもできている。					
CHECK: 分析	昨年度より山村留学希望者が増え、目標人数を確保できた。 バドミントンの経験がない生徒も、部活動において成果が現れてきている。					
ACTION: 今後の対応	引き続き指導員を雇用し、精神面や生活面でも寄り添った指導及び、更なる部活動の強化を図る。 令和6年度は、地元の新入生がいないため、魅力ある学校として発信し、取組むことで、留学生確保に努めていく。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

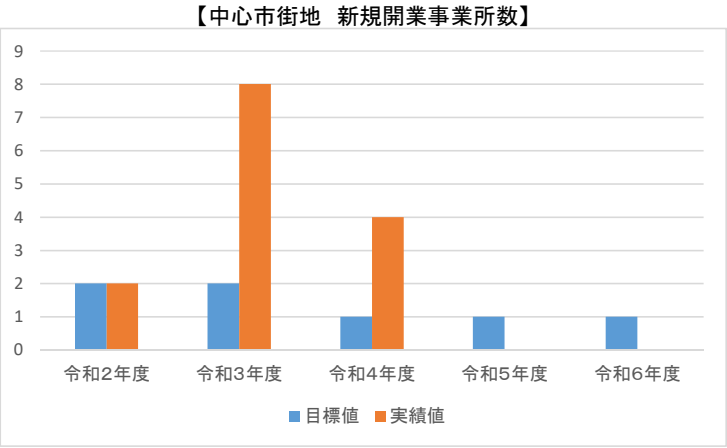
基本目標2

連番 13

基本目標	2	新しい人の流れをつくる			
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく			
具体的な施策	(イ)	町外からの人材・企業の誘致			
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2	2	1	1	1
実績値	2	8	4		
目標に対する達成率	100%	400%	400%		
基準値に対する増減率	-71%	14%	-43%		
評価	○	◎	◎		
PLAN: 取組内容	■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月）				
DO: 実績 （事業内容等を記載）	いの町産業振興奨励金（高知食糧棚たまごセンター）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（6件：MATE、ラグーン、urtukka、楽家、廣福堂、推し鶏）を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。 新規開業（4件：廣福堂（雑貨）、うり坊（居酒屋）、はたけ（居酒屋）、UKIKI COFFEE STAND（コーヒーショップ）） R3年度実施した空き店舗・空き家・空き地等の貸し出しについての意向調査結果を踏まえ、比較的すぐに使えるような物件をどうリノベーションしてにぎわい作りに活用できるかLLPより提案を受けた。				
CHECK: 分析	ここ数年、安定して新規出店がある。 新規出店の要望はあるが、利用可能な空き店舗が少なく出店機会を逃している。 新しく開業した店舗に訪れた方や移住された方等、自分もいの町の商店街で出店をしたいとの要望を聞く。				
ACTION: 今後の対応	使える空き店舗の掘り起しが必要。れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。 新規出店した事業者の情報等を知ってもらう機会を作る。				

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価（意見等）

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進 (ア)安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築 (2)女性の活躍の場を拡大する (ア)女性の活躍の場を拡大する	1	総合政策課	出会いイベント数	回	2	1	4	1	6	2	△	8	○
	2	総合政策課	出会いイベントでのマッチング数	組	3	3	6	3	9	5	△	16	○
	3	総合政策課	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	人	3	2	6	2	9	5	△	14	○
	4	教育委員会	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)	人(年平均)以上	7100	4,277	7,100	5,683	7,100	6,573	△	7,100	
	5	教育委員会	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	人(年平均)以上	100	206	100	132	100	242	◎	200	
	6	ほけん福祉課	1歳6か月児健診の受診率	%	100	100	100	97	100	95	△	100	
	7	ほけん福祉課	3歳児健診の受診率	%	100	98.6	100	96	100	93	△	100	
	8	教育委員会	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)	件(年平均)以下	1300	1219	1,300	1,017	1,300	1,289	◎	1,300	
	9	教育委員会	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	か所以上	3	3	3	3	3	3	○	3	
	10	教育委員会	乳児保育の実施	か所以上	6	6	6	6	6	7	◎	7	
	11	教育委員会	一時預かり事業	か所以上	2	2	2	2	2	3	◎	3	
	12	教育委員会	病後児保育事業	か所	-	-	-	-	3	3	○	3	
	13	教育委員会	地域子育て支援拠点事業の実施箇所	か所	1	1	1	1	1	1	○	1	
	14	教育委員会	放課後児童クラブへの主任支援員配置人数	人以上	2	2	2	2	2	2	○	2	
	15	教育委員会	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得率	%以上	50	55	50	81	50	72	◎	50	
	16	教育委員会	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設か所)	か所以上	5	5	5	5	5	5	○	5	
	17	教育委員会	4か月健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	%以上	90	0	90	0	90	91	◎	90	
	18	教育委員会	4か月健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	%	100	0	100	0	100	100	○	100	

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番	1
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	出会いイベント数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベント数	8	回	3	回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	6	7	8	回
実績値	1	1	2			回
目標に対する達成率	50%	25%	33%			累計目標
基準値に対する増減率	-67%	-67%	-33%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	出会いのきっかけづくりだけでなく、地域の特色・特産を体験・味わうことで、町の魅力を感じていただけるようなイベントを、企業・団体とタイアップして開催する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	3月26日にいの町観光協会への委託事業として、グリーンパークほので出会いイベントを実施した。 内容はデイキャンプ体験として、ピザの食材争奪ゲーム、獲得した食材を使ったピザづくりを実施し、当日は男性10名、女性8名が参加した。					
CHECK: 分析	新型コロナウイルス感染症の関係で、出会いイベントが十分に開催されていない中での実施であったため、男女ともに多くの申込みがあった。 また、参加者からは「デイキャンプに興味がある」といった意見もいただいたこともあり、体験型出会いイベントにすることで参加したいと思っていただく要因になったと分析する。					
ACTION: 今後の対応	地域資源を活用し、出会いにつながらなくても参加することでお得感を感じていただける出会いイベントを関係団体と協働で開催する。					

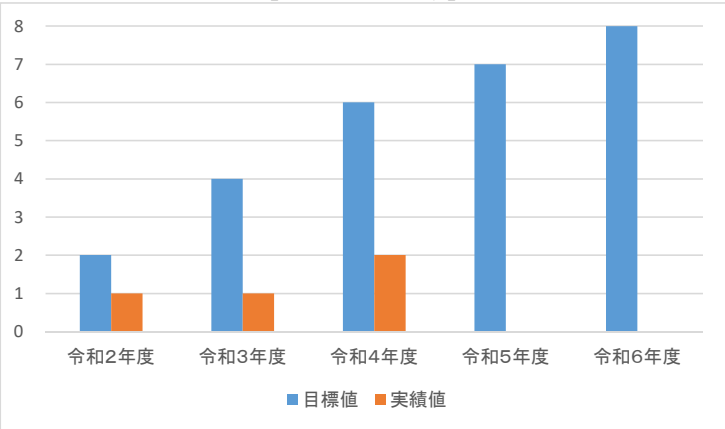
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベント数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

2

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きかけ支援				
項目	★	出会いイベントでのマッチング数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベントでのマッチング数	16	組	-	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	16	組
実績値	3	3	5			組
目標に対する達成率	100%	50%	56%			累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-			
評価	○	△	△			
PLAN: 取組内容	出会いイベント内容において、男女が満遍なく交流できるよう工夫し、マッチング数を少しでも増やす。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	3月26日にグリーンパークほので開催したデイキャンプ体験出会いイベントにおいて、2組のマッチングが成立した。					
CHECK: 分析	イベントの前半で1対1プロフィールトーク、食材争奪ゲーム、ピザづくりといった男女が交流する時間を多く設定したことにより、マッチングにつながったと分析する。					
ACTION: 今後の対応	限られた時間内に、参加者同士が満遍なく交流できるイベント内容にするなど、創意工夫をし引き続きイベントを企画する。					

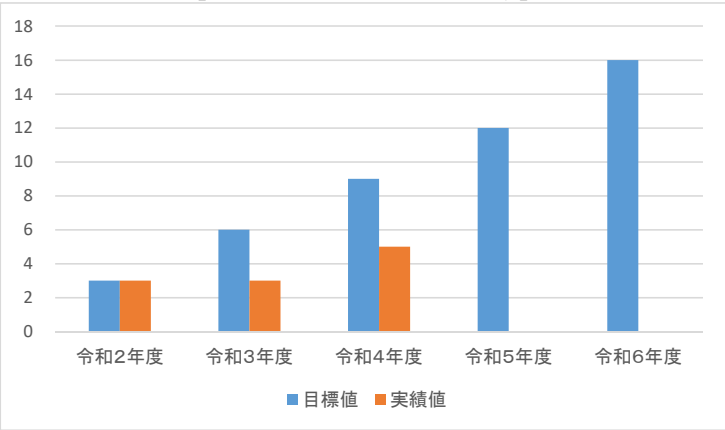
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベントでのマッチング数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番	3
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	14	人	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	14	人
実績値	2	2	5			人
目標に対する達成率	67%	33%	56%			累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	希望する誰もが安心して希望の時期に結婚できるよう、婚活でのカップル成立から結婚に繋げるために、その支援に携わるサポーターの養成にも取り組む。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	婚活サポーター 2名・マッチングサポーター 1名が新規登録した。 (現在、婚活サポーター3名・マッチングサポーター2名・※上記新規登録含む)					
CHECK: 分析	庁内ネットワークを活用し、サポーター養成講座の周知を図った結果、実績3名のうち1名の養成につながった。 また、養成講座の受講のきっかけが、仁淀川町にある合同会社 防災ネットワークによどがわが実施している結婚支援事業『縁結びの家 によどがわ』の声掛けである。 サポーター制度を広く周知することも必要だが、個人個人への周知と取組みに対するお願いをすることもより効果的ではないかと分析する。					
ACTION: 今後の対応	サポーター養成講座開催の周知するほか、個人個人への声掛けを実施する。 また、合同会社 防災ネットワークによどがわの活動の情報収集を行い、何か活用できるものがないか研究する。					

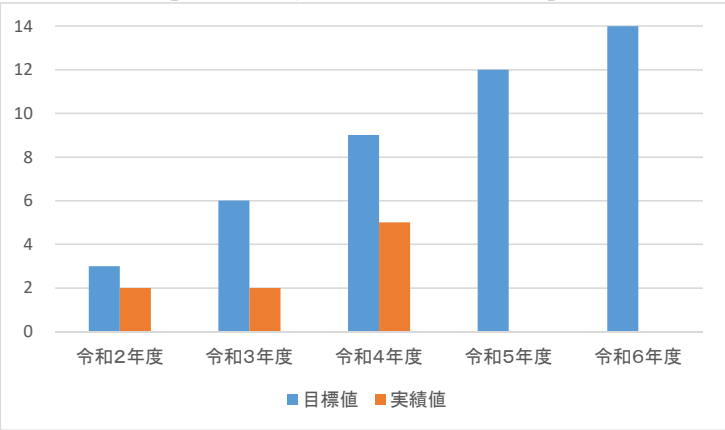
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【サポーター数(婚活・マッチング・サブ)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

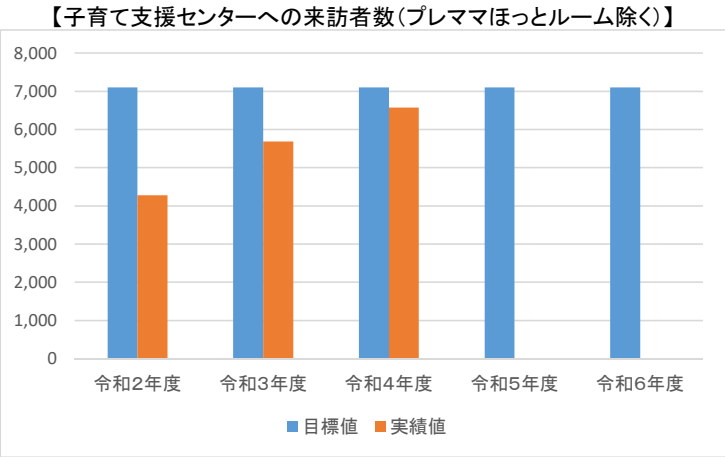
基本目標3

連番	4
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)	7,100	人(年平均)以上	6,828	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	人(年平均)以上
実績値	4,277	5,683	6,573			人
目標に対する達成率	60%	80%	93%			単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-17%	-4%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	子育て支援センターへの来訪者数6,573名。 保育士の視点から各種事業を推進し、当事者の声にも寄り添いながら、機能の充実を図った。また、母子保健事業との連携により、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取組を展開した。 ※(事業内容: 子育て家庭の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び、子育て支援に関する講習等の実施)					
CHECK: 分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。当事者の声にも寄り添いながら拠点の機能強化に努めたことや、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和が図られたこともあり、来訪者数が回復しつつあると考えられる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。また、地域全体で子育てを支え合う取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりに繋げる。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

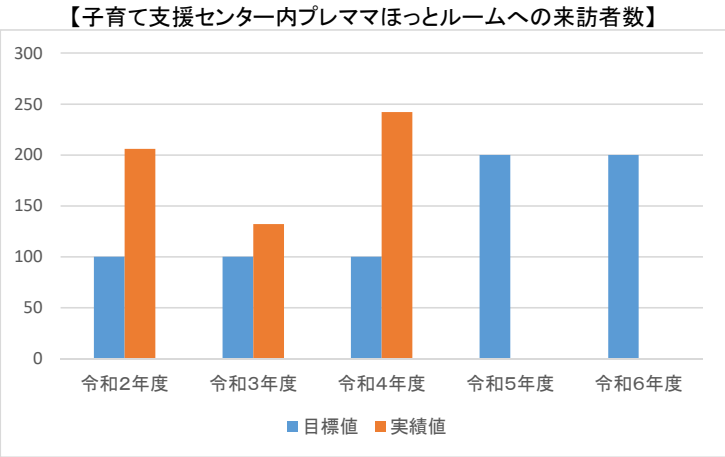
基本目標3

連番	5
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	200	人(年平均)以上	329	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	200	200	人(年平均)以上
実績値	206	132	242			人
目標に対する達成率	206%	132%	242%			単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-60%	-26%			
評価	◎	◎	◎			
PLAN: 取組内容	・産前産後の母親のストレス緩和、赤ちゃんの「心の安全基地づくり」の推進(なないろはあと事業) ・プレママほっとルームの活用(産前産後の母親の居場所) 妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行い、不安感の解消に向けた取組を展開していく。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	242名 より良い愛着形成のスタート時期である妊婦や就園前の親子、その家族を対象に、小児科医師や助産師との座談会、ベビーマッサージ、ベビー＆ママヨガ等を子育て支援センターで定期的を実施した。また、プレママほっとルームでは、産前産後の母親の心身の変化について学んだり、産前産後の母親が集い交流を図ったりすることで、出産や育児への不安軽減に繋がる事業を展開した。					
CHECK: 分析	妊娠期から地域と繋がる切れ目のない支援が重要であり、事業内容の充実やプレママほっとルームの利活用に努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和が図られたこともあり、来訪者数が増加傾向にあると考えられる。					
ACTION: 今後の対応	妊産婦が集うきっかけとなるように集いの機会の拡充を図り、交流促進や利用への不安軽減に繋げる。対象となる妊産婦への周知を関係機関と連携して行い、必要に応じて個別対応をする。また引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

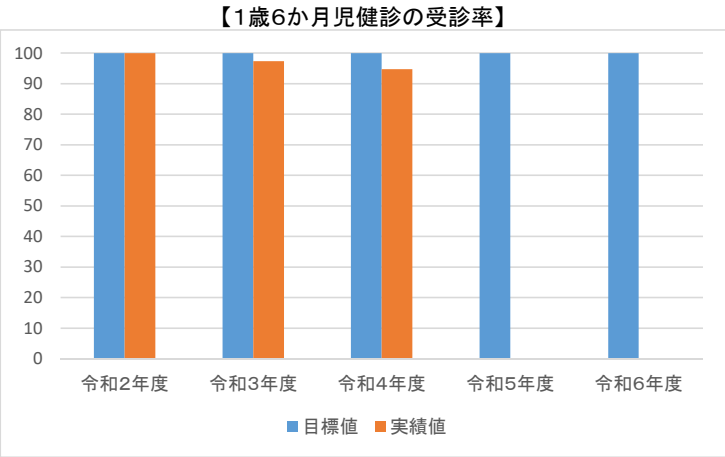
基本目標3

連番 6

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	1歳6か月児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★1歳6か月児健診の受診率	100	%	98.4	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	100	97	95			%
目標に対する達成率	100%	97%	95%			単年度目標
基準値に対する増減率	2%	-1%	-4%			
評価	○	△	△			
PLAN: 取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK: 分析	・健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者6名中2名は転出、2名は令和5年度再勧奨予定、その他2名は保護者の意向にて健診受診拒否であったが、園訪問や来所対応で現状把握できている。 ・健診の場で保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親力カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION: 今後の対応	・子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了

総合評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

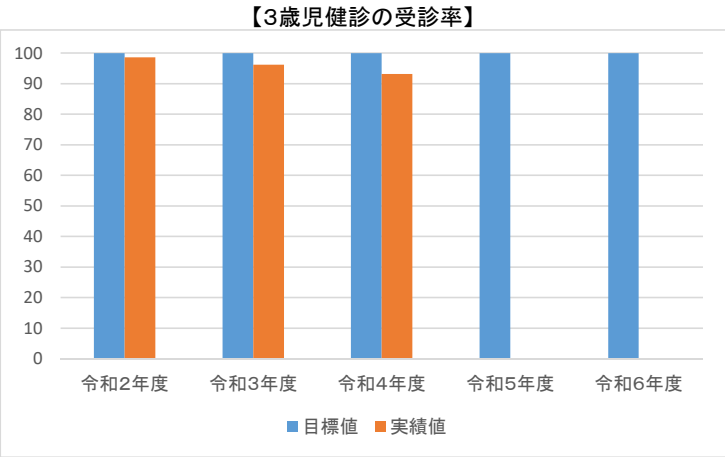
基本目標3

連番 7

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	3歳児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★3歳児健診の受診率	100	%	98.1	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	98.6	96	93			%
目標に対する達成率	99%	96%	93%			単年度目標
基準値に対する増減率	1%	-2%	-5%			
評価	△	△	△			
PLAN: 取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK: 分析	・健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者10名中1名は転出、8名は令和5年度再勧奨予定、その他1名は法定年齢を超えたため未受診とするが、園訪問で現状把握できている。 ・健診の場では、保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親力カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION: 今後の対応	・子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了

総合評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番	8
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)		1,300	件(年平均)以下	1,384	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	件(年平均)以下
実績値	1,219	1,017	1,289			件
目標に対する達成率	-6%	78%	99%			単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-27%	-7%			
評価	◎	◎	◎			
PLAN: 取組内容	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。) 子どもや保護者等からの相談を受け付け、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携して、子どもの福祉に関する支援業務を行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1, 289件 ①実情の把握 ②関係機関と情報共有し、支援方針を共有 ③保護者や子どもへの面談等、継続的な支援を実施					
CHECK: 分析	課題の把握に努め、関係機関と連携して対象家庭への支援を行うなど、養育状況がより良くなるよう注力した。					
ACTION: 今後の対応	教育、保健、福祉、医療等の関係機関と緊密に連携し、様々な社会資源を活用して、養育状況の改善に向けた支援を実施する。					

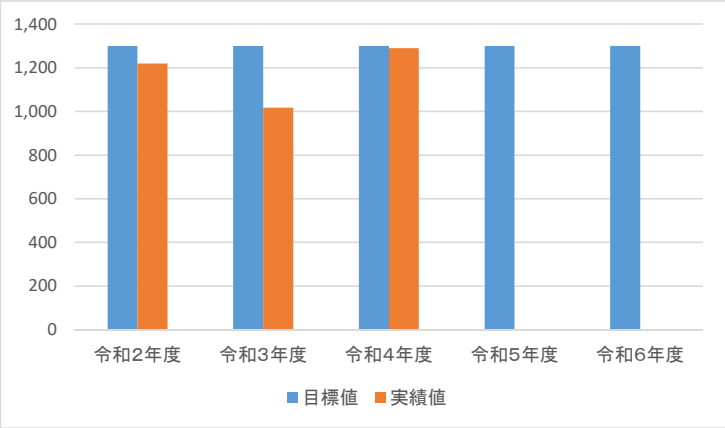
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番	9
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施		3	か所以上	3	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	か所以上
実績値	3	3	3			か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	○	○	○			
PLAN: 取組内容	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、神谷保育園において実施					
CHECK: 分析	延長保育実施により、保護者の就労状況に沿った保育園での受け入れを行い、子育て支援の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。					

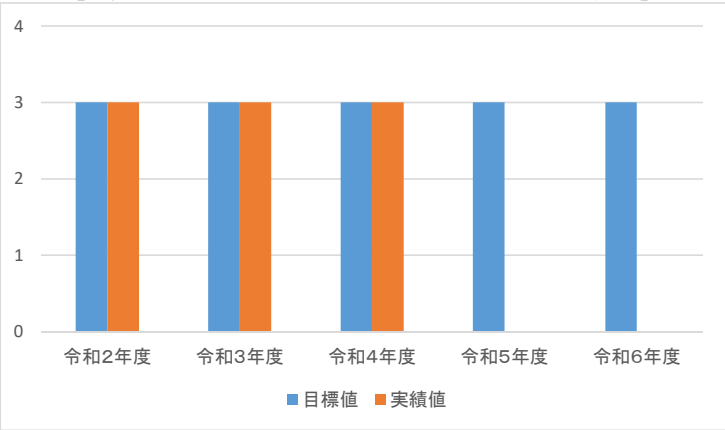
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 10

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	乳児保育の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値：令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★乳児保育の実施		7	か所以上	6	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6	6	6	7	7	か所以上
実績値	6	6	7			か所
目標に対する達成率	100%	100%	117%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	17%			
評価	○	○	◎			
PLAN：取組内容	乳児保育の実施					
DO：実績 （事業内容等を記載）	伊野保育園、あいの保育園、天神保育園、神谷保育園、認定こども園えだがわ、認定こども園ごぼく、家庭的保育事業所あんのぼっけにおいて実施					
CHECK：分析	共働き世帯の増加により、乳児保育へのニーズが高まっている。乳児保育を6園と1施設で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION：今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

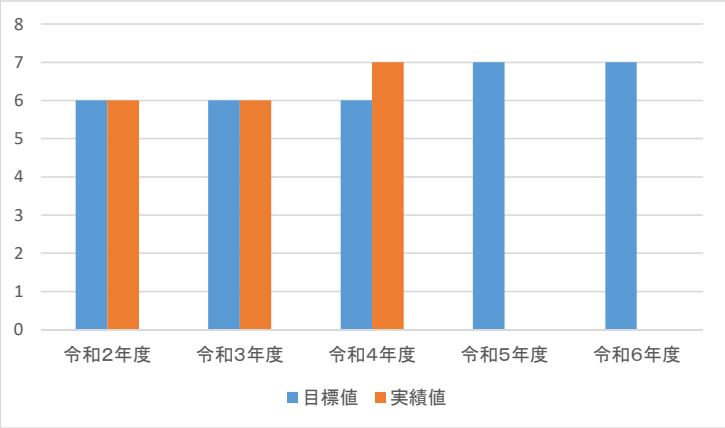
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【乳児保育の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

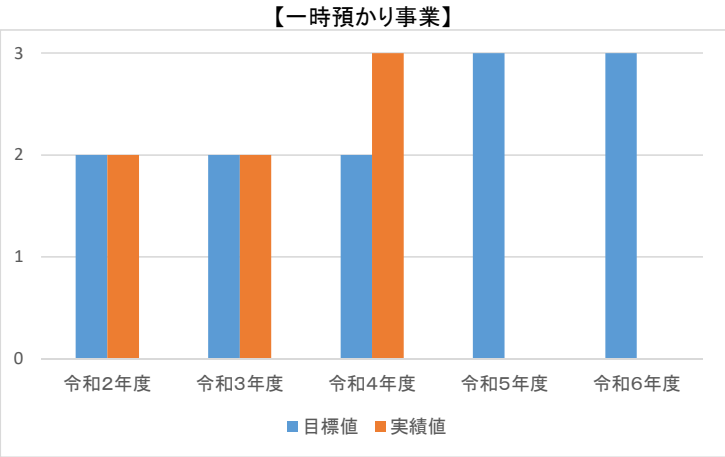
基本目標3

連番 11

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	一時預かり事業				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値：令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★一時預かり事業		3	か所以上	2	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	3	3	か所以上
実績値	2	2	3			か所
目標に対する達成率	100%	100%	150%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	50%			
評価	○	○	◎			
PLAN：取組内容	一時預かり事業					
DO：実績 (事業内容等を記載)	あいの保育園、認定こども園えだがわ、伊野幼稚園において実施					
CHECK：分析	一時的に家庭での保育が困難となる場合や、保護者の育児疲れ等により一時預かり事業への利用ニーズが高まっている。既実施の2園に加え、保護者の子育てと就労の両立支援を目的に、伊野幼稚園において一時預かり事業を行った。					
ACTION：今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了

総合評価項目	◎ 目標値以上
	○ 目標値と同等
	△ 目標値未満
	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 12

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	病後児保育事業				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値：令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★病後児保育事業		3	か所	0	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	3	3	3	か所
実績値	-	-	3			か所
目標に対する達成率	-	-	100%			単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	300%			
評価			○			
PLAN：取組内容	病後児保育事業					
DO：実績 （事業内容等を記載）	いの町総合健康センター内、吾北中央公民館内、本川プラチナ交流センター内において実施					
CHECK：分析	保護者の子育てと就労の両立支援を目的に、病後児保育事業を旧伊野地区、吾北地区、本川地区の3拠点において実施した。					
ACTION：今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。					

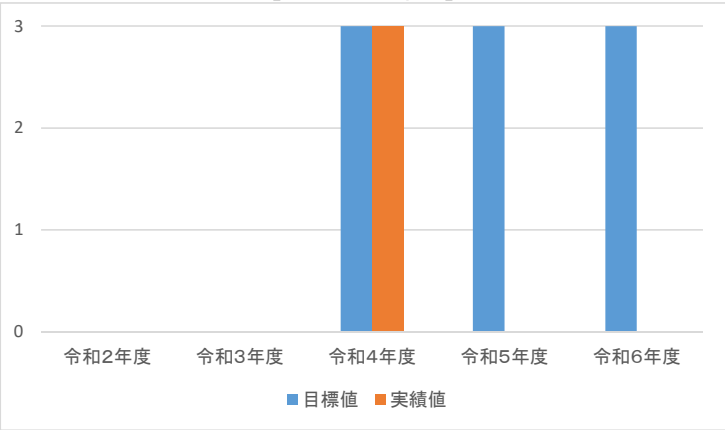
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【病後児保育事業】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

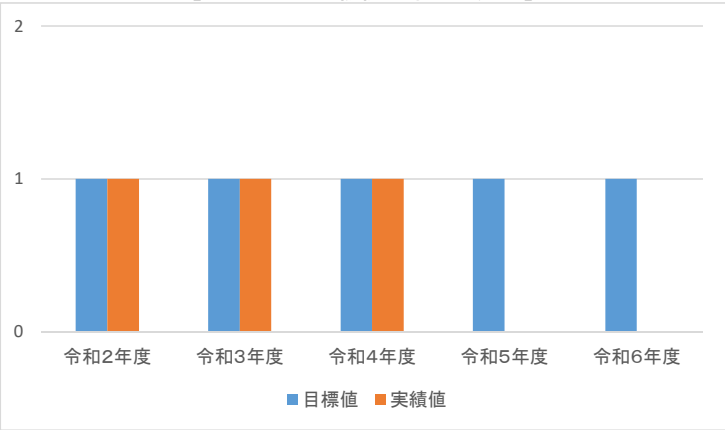
連番 13

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	地域子育て支援拠点事業の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★地域子育て支援拠点事業の実施	1	か所	1	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	か所
実績値	1	1	1			か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	○	○	○			
PLAN: 取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	地域子育て支援拠点として、「ぐりぐらひろば」1か所をいの町総合健康センターに開設。(妊婦、子育て家庭を対象とした交流の場の提供と日常的な見守り。)保育士を配置し、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取組を展開した。 また、関係機関や地域と連携し、子育て家庭を地域ぐるみで見守る支援体制の整備を図った。					
CHECK: 分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。子育て家庭の孤立を予防し育児不安の軽減に繋げるためにも、妊婦や子育て家庭が他者と出会い交流できる仕組みを、意図的に作りだすことが求められている。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。また、地域全体で子育てを支え合う取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりに繋げる。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【地域子育て支援拠点事業の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

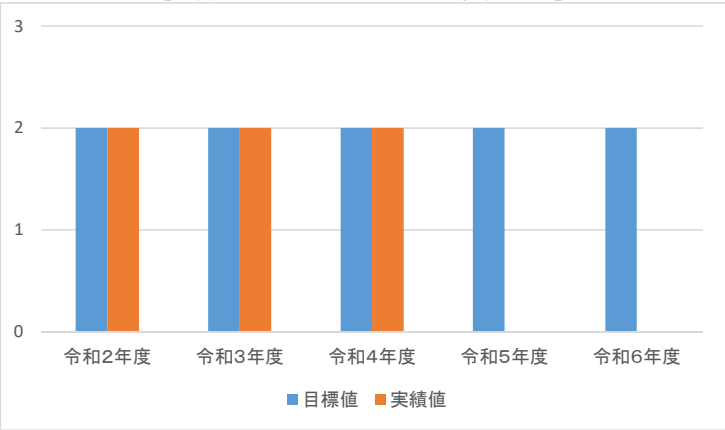
連番 14

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後児童クラブへの主任支援員配置				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブへの主任支援員配置	2	人以上	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	人以上
実績値	2	2	2			人
目標に対する達成率	100%	100%	100%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	○	○	○			
PLAN: 取組内容	令和6年度までの間 児童クラブへ主任支援員を2名以上配置					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	主任支援員を伊野小学校ひまわり児童会と枝川小学校さくらんぼ児童会に1名ずつ、合計2名配置できた。					
CHECK: 分析	主任支援員を配置することにより、パソコンを使用した事務処理やおやつの買い出し、学校との情報共有を他の支援員が出勤する14時より前に行うことができ、スムーズなクラブ運営が可能となっている(ひまわり児童会やさくらんぼ児童会のような大規模な児童クラブの場合、14時以降にこのような業務を行うと児童の育成支援に支障が出る。))。					
ACTION: 今後の対応	現在主任支援員が配置されている児童クラブには継続して主任支援員を配置することで、スムーズなクラブ運営を継続していく。また、現在主任支援員が配置されていない小規模な児童クラブにおいてもクラブ運営をスムーズに行っていくために配置を検討していく。					

評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブへの主任支援員配置】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

15

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)(2) 誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する					
具体的な施策	(ア) 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する					
	②① 妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備					
項目	★ 放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率		50	%以上	-	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	%以上
実績値	55	81	72			%
目標に対する達成率	110%	162%	144%			単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-			
評価	◎	◎	◎			
PLAN:取組内容	令和6年度までの間 直営の放課後児童クラブにおける常勤支援員の放課後児童支援員認定資格取得者を15名以上					
DO:実績 (事業内容等を記載)			常勤支援員数	認定資格取得者数	※令和5年3月31日現在	
	ひまわり児童会(伊野小)		5	3		
	なのはな児童会(伊野小)		5	4		
	さくらんぼ児童会(枝川小)		6	4		
	ホットハウス児童会(枝川小)		3	3		
	たんぽぽ児童会(川内小)		1	1		
	むささび児童会(吾北小)		2	1	取得率 72.7%	
	合計		22	16		
CHECK:分析	高知県が開催する放課後児童支援員認定資格研修は年1回(4日間)開催され、令和4年度は受講要件を満たす3名(補助支援員除く)が資格を取得したが、有資格者の離職があったため、取得者数は令和3年度と比べると1名減となった。					
ACTION:今後の対応	受講要件を満たす者には受講するよう、あらゆる機会を通じて周知徹底する。また、常勤支援員に限らず補助支援員に対しても、研修の案内を行い、受講を依頼する。					

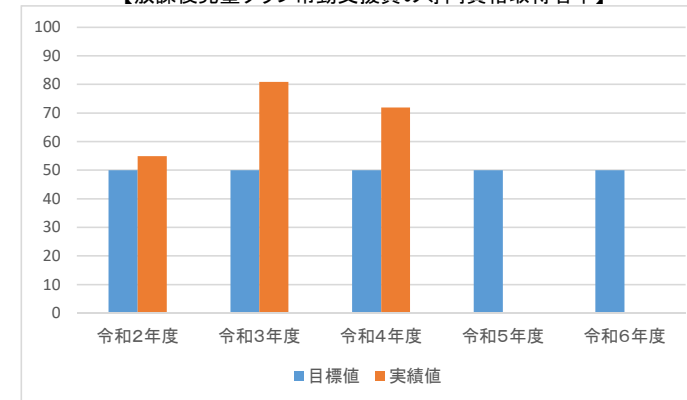
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 16

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)	5	か所以上	5	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	か所以上
実績値	5	5	5			か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%			単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	○	○	○			
PLAN: 取組内容	令和6年度までの間 週2回以上開設箇所5箇所以上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	枝川小学校放課後子ども教室・伊野南小学校放課後子ども教室・伊野小学校放課後子ども教室・神谷小学校放課後子ども教室・長沢小学校放課後子ども教室において週2回以上の開設を行った。					
CHECK: 分析	5か所において週2回以上の開設を行い、放課後における学習活動等の充実を図ることができた。					
ACTION: 今後の対応	今後においても継続して放課後学習活動の充実を図っていく。現状の取組が継続できる体制の確保と予算措置を継続して確保していきたい。					

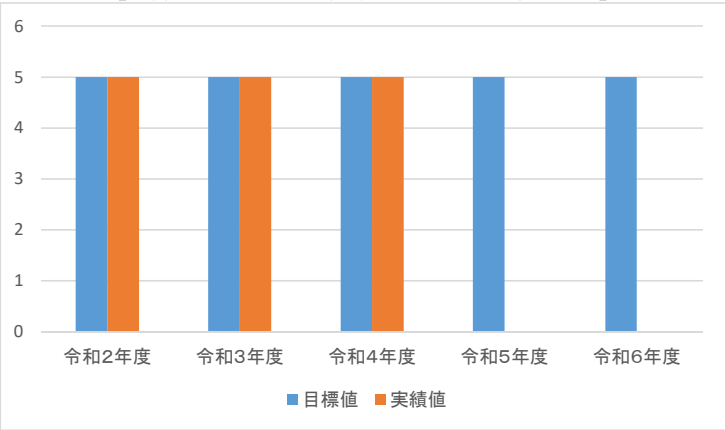
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

17

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する			
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進			
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築			
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進			
項目	★	4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	90	%以上	97.8	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	90	90	90	90	90
実績値	0	0	91		
目標に対する達成率	0%	0%	101%		
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-7%		
評価	×	評価なし	◎		
PLAN: 取組内容	■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 4か月児健診訪問(ブックスタートセット配布103組) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会)				
CHECK: 分析	4か月児健診対象者113名のうち103名にブックスタートセットを配布した。7か月児健診の案内にアンケートを同封し7か月児健診受付で回収する方法でアンケートを実施、74名からの回答が得られた。配布した絵本の活用についての設問に対し、一番多かった回答は「何度か読んだ(39)」で「よく読んでいる(28)」と合わせると90.5%が肯定的な回答であった。「他の絵本を読んでいる」と回答した方5名のうち3名は肯定的な意見との重複回答であった。「読んでいない」と回答した方は2名は、それぞれ「育児で忙しい」「その他」を理由として選択しており、読み聞かせができる状況として2名とも「赤ちゃんがもう少し大きくなったら」を選択していた。				
ACTION: 今後の対応	アンケートの自由記述欄から、「絵本が好きなことが分かった、読んであげると喜ぶのでうれしい、絵本の選び方を教えて欲しい、この時期に話が聞けてよかった、本が家庭にあるものだったので数種類から選べたらうれしい」など、ご意見やご感想を多数寄せていただいたので今後の取組の参考にし、事業の充実を図る。ブックスタート後のフォローアップにより、活用促進に努める。				

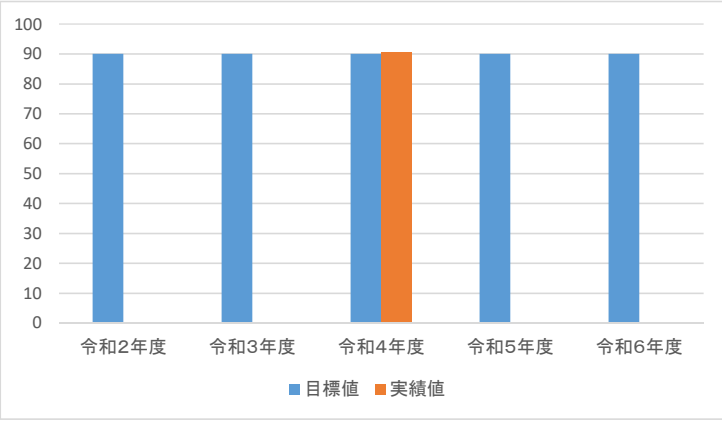
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率】

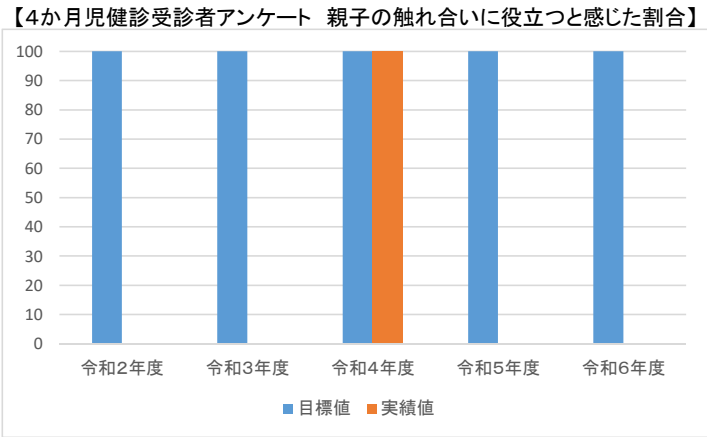


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する			
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進			
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築			
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進			
項目	★	4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合			
担当課	重要業績評価指標 (KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	100	%	100	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	100	100	100	100	100
実績値	0	0	100		
目標に対する達成率	0%	0%	100%		
基準値に対する増減率	-100%	-100%	0%		
評価	×	評価なし	○		
PLAN: 取組内容	■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 4か月児健診訪問(ブックスタートセット配布103組) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会)				
CHECK: 分析	4か月児健診対象者113名のうち103名にブックスタートセットを配布した。7か月児健診の案内にアンケートを同封し7か月児健診受付で回収する方法でアンケートを実施、74名からの回答が得られた。「絵本が親子のふれあいに役立つと思うか」の設問に対し、全員が「はい」と回答した。どのような状況であれば「読み聞かせができると思うか」の問いには、「時間や周りの助けがある状況ができれば(35)」が半数近く、次いで「自分の気持ちの余裕ができれば(23)・赤ちゃんがもう少し大きくなったら(16)」と続くことから、乳児期は、保護者が時間や気持ちに余裕が持てなかったり、周囲の助けが必ずしも十分でない場合もあることがうかがえる。しかし、絵本を読んでいるとき「子どもの表情や成長を感じられる(55)・ほっとする時間(22)・楽しいと感じる(22)※複数回答あり」という回答もあり、乳幼児期から絵本が身近にある環境や読み聞かせを体験する機会を提供する取り組み(ブックスタート)は、親子の愛着形成の促進に寄与していると考えられる。				
ACTION: 今後の対応	ブックスタートをきっかけに図書館に足を運んでいただけるよう、誰もが安心して利用できる環境の整備に努めるとともに、発達段階に応じた切れ目ない読書支援事業を展開する。また、様々な理由で来館や読書が困難な方に対して、ブックスタートセット配布の徹底と図書館サービスの利用方法を検討する。				

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)		単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	評価	R6(最終年度) 時点
(1)中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る	1	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数		事業所	2	2	2	8	1	4	◎	7
	2	産業経済課	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5ヵ所調査合計値)	平日	人	-	-	871	1,326	890	1,206	◎	928
				休日	人	-	-	647	1,162	666	1,077		705
(2)中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援 (ア)中山間地域の維持・創生	3	総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	集落活動センターの開設		か所	2	2	2	2	2	2	○	3
	4	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 拠点		か所	2	2	2	2	2	2	○	2
	5	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト		か所	3	3	3	3	3	3	○	3
	6	本川住民福祉課	本川地区内の路線バス維持に向けた雇用		人	3	4	3	6	3	4	◎	3

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番 1

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る				
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアににぎわい創出推進の強化				
	①	商店街通りエリアににぎわい創出推進強化				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★ 中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2	8	4			事業所
目標に対する達成率	100%	400%	400%			
基準値に対する増減率	-71%	14%	-43%			複数年度
評価	○	◎	◎			
PLAN: 取組内容	■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月）					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	いの町産業振興奨励金（高知食糧棚）たまごセンター）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（6件：MATE、ラグーン、urtukka、楽家、廣福堂、推し鶏）を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。 新規開業（4件：廣福堂（雑貨）、うり坊（居酒屋）、はたけ（居酒屋）、UKIKI COFFEE STAND（コーヒーショップ）） R3年度実施した空き店舗・空き家・空き地等の貸し出しについての意向調査結果を踏まえ、比較的すぐに使えるような物件をどうリノベーションしてにぎわい作りに活用できるかLLPより提案を受けた。					
CHECK: 分析	ここ数年、安定して新規出店がある。 新規出店の要望はあるが、利用可能な空き店舗が少なく出店機会を逃している。 新しく開業した店舗に訪れた方や移住された方等、自分もいの町の商店街で出店をしたいとの要望を聞く。					
ACTION: 今後の対応	使える空き店舗の掘り起しが必要。れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。 新規出店した事業者の情報等を知ってもらう機会を作る。					

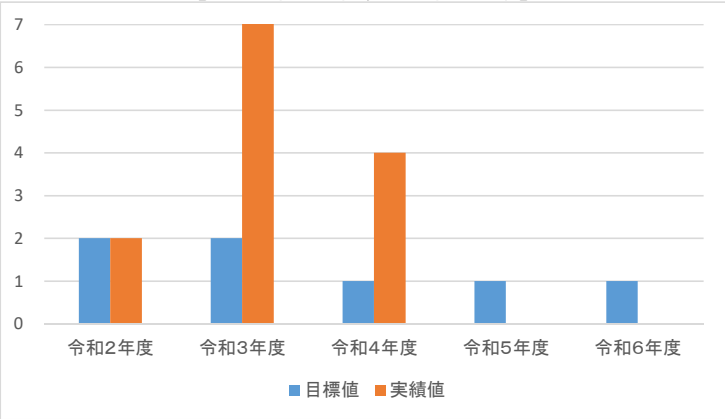
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

2

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る				
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアににぎわい創出推進の強化				
	①	商店街通りエリアににぎわい創出推進強化				
項目	★	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値・令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)	平日928人 休日705人	人	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値(平日)	-	871	890	909	928	人
実績値(平日)	-	1326	1,206			人
目標値(休日)	-	647	666	685	705	人
実績値(休日)	-	1162	1,077			人
目標に対する達成率	-	164%	147%			
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	単年度
評価		◎	◎			
PLAN: 取組内容	①まちづくりのための社会実証実験・・・新たなコンテンツの実施により商店街ににぎわいを作ることができるか検証を行う ②住宅店舗等活用可能性調査 中心市街地エリアにある空き店舗等の建物の基本的構造の調査と具体的な活用方法の提示、エリアマネジメントについての調査事業を実施する ③空き店舗家賃支援事業 空き店舗を活用した新規出店者に対し、家賃の補助を行うことで新規出店を促す ④中心市街地空き店舗等活用事業 空き店舗等の玄関分離、トイレ設備増設等の改築整備の補助することで新規出店を後押しする					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	①R4.10.16実施よさこい交流演舞、R5.3.5実施eスポーツ体験会 ②中心市街地エリアの空き店舗、空き家、空きスペースについて、建物の具体的な活用方法の提案を行った。・・・LLPに調査委託 ③中心市街地エリアで空き店舗を活用して、新規出店した事業者に対し、1/2、月50,000円を上限に補助を行った。・・・補助件数6件、補助金額1,420,000円 ④補助件数0件					
CHECK: 分析	①町民・商店街事業者の反応は良く、にぎわい作りをもたらしコンテンツとして有効。 ②空き店舗の活用事例の提案を受けることで、にぎわい作りの具体的なイメージを持つことができた。 ③家賃補助があることで、中心市街地エリアへ出店する一つの要因となっていると感じる。 ④補助金を活用したいという要望がなく、補助要件等の見直しが必要である。					
ACTION: 今後の対応	①中心市街地のにぎわい作りを担う企画に育てていく。 ②R4年度に調査報告書の内容を基に、リノベーションのワークショップを実施し、住民が参加して行うまちづくりを進めていく。新たな空き店舗の掘り起こしも並行して行う。 ③一定、新規出店のきっかけとなっているため継続して実施していく。 ④改正など必要な協議を行い、活用しやすい補助金としていく。					

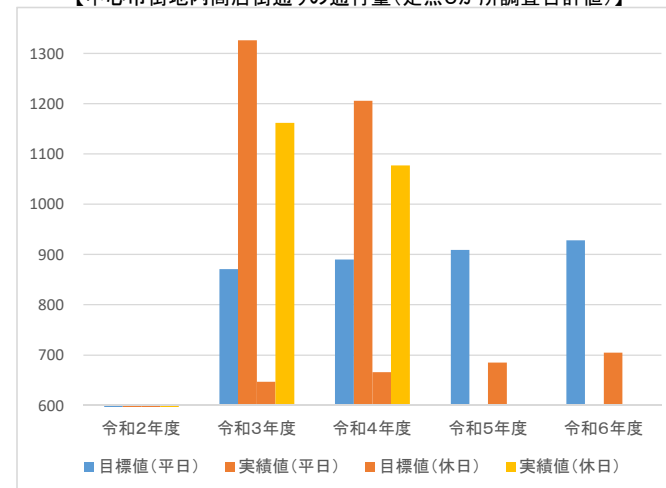
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	集落活動センターの開設数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)			基準値: 令和元年度		
	令和6年度			実績等		
総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	★集落活動センターの開設数		3	か所	2	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	3	か所
実績値	2	2	2			か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%			複数年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	○	○	○			
PLAN: 取組内容	中山間地域の維持・創生に向け、小さな拠点として「集落活動センター（地域の支え合いや活性化の拠点）の整備促進や小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図るとともに、地域の資源や特性を活かした産業づくり支援を促進する。					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	【柳野】 イタダリの生育状況が順調で、収量が昨年度比較で2倍となった。また、HACCPに対応した加工場の改修工事と、厨房設備機器を導入した。地域農産物を活用した加工品の試作も行った。また、情報発信を図るためホームページを作成した。 【氷室の里】 原木まいたけ、原木なめこ等の販売を高知市のとさのさとで1日、日曜市、UFOラインウォークで5日計6日行った。 また、森林軌道を活用した体験イベントを2回開催し、合計12名を誘客した。					
CHECK: 分析	【柳野】 直売施設の運営、配食サービス、イタダリの栽培棟、施設・環境を十分に活用した取り組みがなされている。また、イタダリの皮剥ぎから加工までの工程を、直売施設のウッドデッキを一部仕切って狭いスペースで作業をしていたが、加工場を改修したことで、その課題もクリアされた。イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【氷室の里】 まいたけの収穫時期が気候の影響により例年と比べ遅れ、計画していた出店に間に合わなかったため、前年度と比較して収穫量は2割増であったが、販売量は前年度並みとなった。 森林軌道跡などの地域資源を活用した体験イベントについては、潜在顧客の獲得に成功した。					
ACTION: 今後の対応	【柳野】 令和元年度から栽培しているイタダリの加工及び新商品開発に向けた検討を行い、試作及び試食会を開催する。引き続き、高知県地域支援企画員・中央西農業振興センターと連携し、支援していく。 【氷室の里】 まいたけを中心とするきのこの生産・販売・流通体制を確立し、「きのこの里」として当該地域が広く認知されることを目指す。定期的な集いの開催やイベント参加、営業先の開拓や、昨年度新たに着手した本川ジャガイモの栽培・販売を継続して実施する。 また、顧客ニーズに合った地域資源を活用した体験イベントを企画し、地域の魅力を発信しながら関係人口の増加につなげていく。					

評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落活動センターの開設数】

年度	目標値	実績値
令和2年度	2	2
令和3年度	2	2
令和4年度	2	2
令和5年度	2	2
令和6年度	3	3

推進委員会による検証評価（意見等）

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

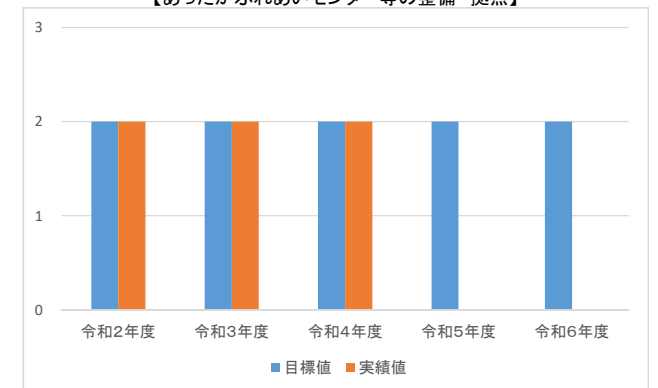
総合戦略効果検証シート

基本目標4 連番 4

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 拠点				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 拠点	2	か所	2	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	か所
実績値	2	2	2			か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%			複数年度
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			目標
評価	○	○	○			
PLAN: 取組内容	【5か年度の目標】 子どもから高齢者まで年齢や障害の有無に関わらず、誰もが気軽に集える場所を提供するとともに、地域住民の健康づくり、生きがいづくり活動や要配慮者宅の訪問、相談、つなぎ、生活支援を行う。集いでは、介護予防体操や脳トレ、認知症カフェ、創作活動、講師を招いての講義などさまざまな行事を行う。なお、3年度における重点目標としては下記を掲げる。 【伊野】利用の少ない障害者や子どもなど、幅広い方が利用できる居場所づくりに取り組む。 【吾北】訪問を強化					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	【伊野】 高齢者の集いだけでなく、子どもの集いや閉じこもりがちなか堅・若年世代が就労体験ができる場所としての機能を果たすよう工夫した。特に、楮を使ったへぐりや蒸し剥ぎなどを行うことで、社会との接点を持つことが難しかった人達が少しずつやりがいを見つけ、他者と交流する習慣ができてきた。 【吾北】 コロナ禍においても、定期訪問を実施するとともに、地域のお世話役から相談があった人への訪問もできた。また、児童会へも訪問ができ、レクリエーションの提供とともにあったかへの周知にもつながった。					
CHECK: 分析	【伊野】 高齢者の集いのみならず、制度の狭間にいる人たちが集える場所になりつつあることは高く評価できると思われる。ただ、利用者が高齢者や就労支援利用の若年層に偏っているため、子育て世代や子どもの居場所作りをより一層努める必要がある。また、神谷など中山間地域からの来所が少ないので、当センターの周知やアウトリーチが必要である。 【吾北】 コロナ禍であっても、集いの内容を工夫できた(園児との交流、季節を感じる創作活動など)。また、定期訪問を続行したり、住民からの相談件数が増えて気軽に相談窓口として機能しつつ、関係機関へつなぎを行い、ともに解決できるように努められたことは良かったと思われる。					
ACTION: 今後の対応	【伊野】 ・子育て世代に対応した休日の活動場所として、休日(土曜日)開所を行い、あらたなニーズを把握する。 ・国道194号沿いの地域へのアウトリーチ(ニーズ調査、必要に応じてサテライトを実施など)を行う。 【吾北】 ・定期訪問に含め、独居高齢者や高齢世帯も増加している中でニーズ把握を行う。見守り訪問は社協の配食も兼ね行う。 ・お世話役の高齢化を考慮し、サポートを行うとともにコロナで休止中の団体を調べ関係機関と連携する。					

評価項目	総合評価項目
◎ 目標値以上	◎ 目標値以上
○ 目標値と同等	○ 目標値と同等
△ 目標値未満	△ 目標値未満
× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 拠点】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	Q.本川地区にあったかふれあいセンターはないが、どのようにカバーしているのか。 A.本川地区には、社会福祉協議会が朝霧荘で生きがいデイサービスを実施しており、送迎も行っている。
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番 5

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	(1)	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	3	か所	3	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	か所
実績値	3	3	3			か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%			複数年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%			
評価	○	○	○			
PLAN:取組内容	吾北地区における3地区の特性を把握したうえで、サテライトならではの様々な課題に対応できる活動を目指す。ニーズ調査において下八川、三水は地域の集まり(体操等)が少ないという声があったことを念頭に置き、介護予防の体操や創作活動などを行うと同時に、買い物支援など生活支援も行っていく。 また、高齢者のみならず、子どもの集いを開催し、世代間交流するなど、地域の高齢者が孤立しないような活動を行っていく。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	「集い」「訪問」「相談」「つなぎ」「生活支援」「交わる」について、各事業を実施。集いの場へ自力で参加できない利用者については送迎を行った。 【サテライト清水】 実施場所:清水公民館/日時:毎月第1・3火曜日 13:00～15:00 開催回数:21回(R1:21回) ※R5年1月～木曜日に変更 【サテライト下八川】 実施場所:下八川児童館/日時:毎月第2木曜日 13:00～15:00 開催回数:10回(R1:11回) ※R5年1月～下八川公民館に変更 【サテライト三水】 実施場所:三水防災コミュニティ/日時:第4木曜日10:00～12:00 開催回数:9回(R1:10回)					
CHECK:分析	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により活動の制限があったが、感染対策に努めて事業を実施でき良かった。 出張型集いを行うことは送迎時間が短くなることであり、車中の滞在時間が短く、感染症が流行している時期にはこういった地域出張型の集いの意義が一段と強まった。 今後も、送迎時間を短縮する事は利用者の負担も少ないので、サテライトによる集いをより充実させていきたい。					
ACTION:今後の対応	・免許返納等で自力で来れなくなった方へ送迎も対応。 ・コロナ禍で外出機会が減った方へのアプローチ。 ・コロナ禍以前に行っていた内容ができるよう検討。 ・サテライト清水では引き続き町公用車にて、送迎を実施。					

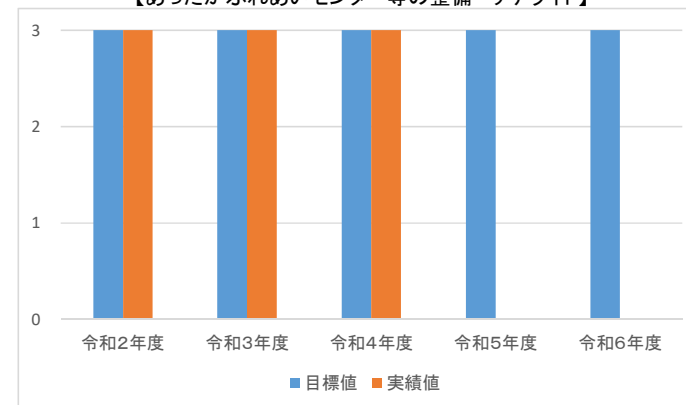
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 サテライト】

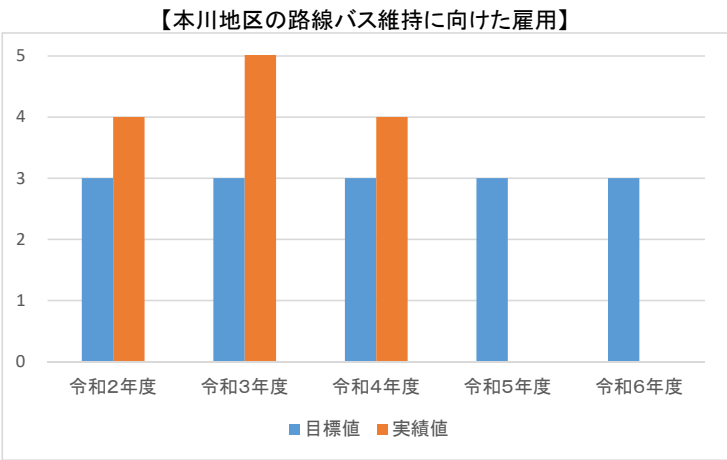


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	Q.伊野地区にサテライトを増やす計画はないか。 A.新たなサテライトを整備する計画はないが、伊野地区の194号沿いでの整備について検討している。
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	②	中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援				
項目	★	本川地区の路線バス維持に向けた雇用				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川住民福祉課	★本川地区の路線バス維持に向けた雇用	3	人	3	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	人
実績値	4	6	4			人
目標に対する達成率	133%	200%	133%			単年度
基準値に対する増減率	33%	100%	33%			
評価	◎	◎	◎			
PLAN: 取組内容	市町村有償運送事業(長沢～寺川間・長沢～大森間)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	会計年度任用職員を中心とした4名体制で、円滑なバス運行ができた。					
CHECK: 分析	地域住民にとってバス路線の存在は単なる移動手段にとどまらず、安心して地域で生活していく心のゆとりにつながり、有償運送事業による路線バスの維持は、非常に大きな意義がある。また、それを担う運転手の雇用は、居住者の定着につながり、ひいては地域の活性化に寄与する。					
ACTION: 今後の対応	高齢化で運転が困難になった運転免許証の自主返納者も増加するなか、受け皿となる交通手段として有償運送事業を継続していく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上